



EasyMP Network Projection 操作ガイド

EasyMP Network Projectionについて

EasyMP Network Projectionの機能	5
多彩な画面投写機能	6
マルチスクリーンディスプレイ	6
動画再生モード	6
プレゼンテーションモード	6
分配機能	7
接続モード	8
かんたんモード	8
マニュアルモード	8

はじめてEasyMP Network Projectionを使うときの準備

ソフトウェアをインストールする	10
EasyMP Network Projectionシステム動作条件	10
EasyMP Network Projectionをインストールする (Windows)	11
EasyMP Network Projectionをインストールする (Mac OS X)	11
プロジェクターを設定する	13
使用するネットワーク環境に適した接続方法	13
かんたんモードで接続するときの設定方法	14
マニュアルモードで接続するときの設定方法 (無線LAN)	15
マニュアルモードで接続するときの設定方法 (有線LAN)	15

プロジェクターに接続して画面を投写する

接続方法	18
プロジェクターとコンピューターを無線で直接接続する	18
プロジェクターとコンピューターを無線LANで接続する	20
プロジェクターとコンピューターを有線LANで接続する	21

プロジェクターを検索する	24
検索方法	24
自動で検索する	24
SSID、IPアドレス、またはプロジェクター名を指定して検索する	25
プロファイルを使って検索する	26
プロファイルとは	26
プロファイルを指定して検索する	26
プロファイルを作成する	27
プロファイルを管理する	28
投写する映像を操作する	31
投写画面を一時的に消す・停止する	31
入力ソースを切り替える	31
投写を終了する	33

便利な機能を活用する

接続するコンピューターを切り替える	35
PowerPointのスライドショーだけを投写する	36
動画ファイルを投写する	37
再生できるファイルの仕様	37
動画再生モードを使う	37
マルチスクリーンディスプレイ機能を使って画面を投写する	40
マルチスクリーンディスプレイの配置例	40
マルチスクリーンディスプレイを設定する	41
仮想ディスプレイドライバを有効にする (Windows)	41
マルチスクリーンディスプレイを配置する (Windows)	42
マルチスクリーンディスプレイを配置する (Mac OS X)	45
配置の設定をしたマルチスクリーンディスプレイに映像を投写する	47
1台のコンピューターの画面を複数のプロジェクターに投写する。	49

困ったときに

ネットワーク接続に関するトラブル 51

- かんたんモードで接続できない 51
- マニュアルモードで接続できない（無線LAN） 52
- マニュアルモードで接続できない（有線LAN） 54

投写中のトラブル 56

- コンピューターの画面が正しく表示されない 56
- 画面が正しく投写されない 56
- プロジェクターから音が出ない、またはノイズが混ざる 57

エラーメッセージ一覧 58

- EasyMP Network Projection起動時のエラーメッセージ 58
- プロジェクターの検索、選択時のエラーメッセージ 59
- 投写時のエラーメッセージ 59

Event ID一覧 61

各画面の説明

接続モード選択画面 64

接続画面 65

プロファイル 68

- プロファイルに保存 68
- プロファイル編集 68

オプション設定 70

- オプション設定 - 一般設定 70
- オプション設定 - パフォーマンス調整 71
- オプション設定 - 音声出力 72

ツールバー 74

- 操作対象プロジェクターの選択 75

プロジェクター制御 75

動画再生モード 77

Virtual Displayの追加と削除 78

付録

ソフトウェアを更新、またはアンインストールする 80

- ソフトウェアの最新バージョンを入手する 80
- EasyMP Network Projectionをアンインストールする（Windows XP/Windows Vista/Windows 7） 80
- EasyMP Network Projectionをアンインストールする（Windows 8） 81
- EasyMP Network Projectionをアンインストールする（Mac OS X） 81

対応解像度と表示色 82

- 対応解像度 82
- 表示色 82

制限事項 83

- 使用時の制限 83
- WindowsフォトギャラリーまたはLiveフォトギャラリー投写時の制限 83
- Windows Aeroの制限 83
- Windows Media Center投写時の制限 84

一般のご注意 85

- ご注意 85
- 表記について 85
- 商標について 85



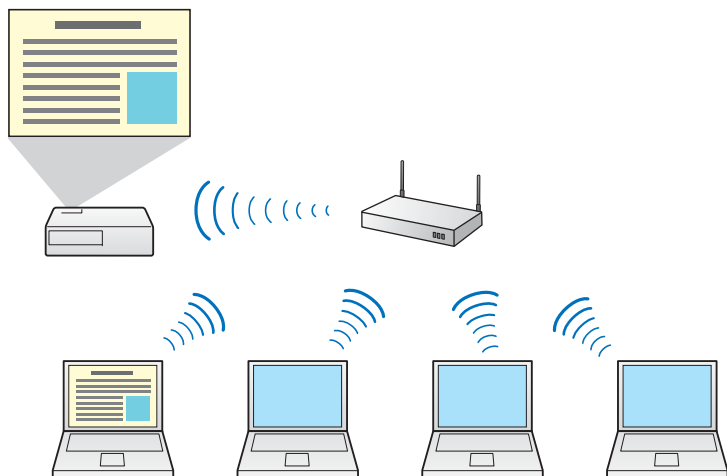
EasyMP Network Projectionについて

EasyMP Network Projectionの特長を説明します。

関連項目

- 「EasyMP Network Projectionの機能」 [p.5](#)
- 「多彩な画面投写機能」 [p.6](#)
- 「接続モード」 [p.8](#)

EasyMP Network Projectionを使うと、ネットワーク経由でコンピューターの画面をプロジェクターから投写できます。ネットワーク上のプロジェクターを共用して、映像ケーブルをつなぎかえることなく各自の資料を投写したり、コンピューターから距離の離れたプロジェクターに投写することができます。



関連項目

- 「EasyMP Network Projection(について)」 [p.4](#)

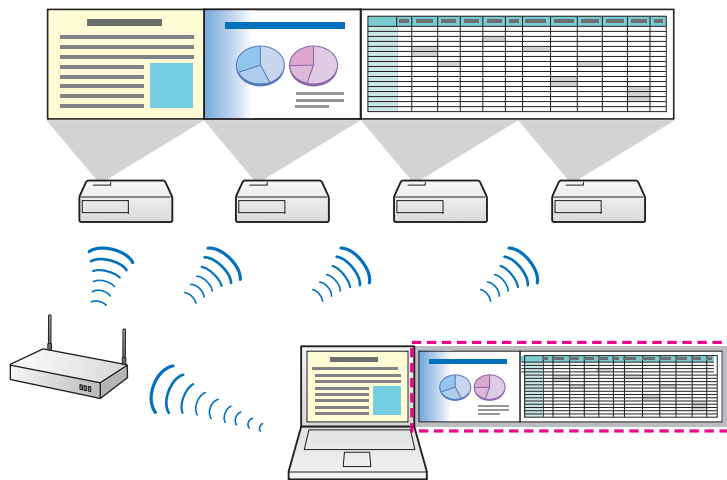
さまざまな画面投写機能を利用できます。

関連項目

- 「EasyMP Network Projection(について)」 p.4
- 「マルチスクリーンディスプレイ」 p.6
- 「動画再生モード」 p.6
- 「プレゼンテーションモード」 p.6
- 「分配機能」 p.7

マルチスクリーンディスプレイ

1台のコンピューターから4台までのプロジェクターに、それぞれ異なる映像を投写します。また、コンピューターのディスプレイに収まらないファイルを大画面で投写することもできます。



関連項目

- 「多彩な画面投写機能」 p.6

- 「マルチスクリーンディスプレイ機能を使って画面を投写する」 p.40

動画再生モード

動画ファイルをプロジェクターに直接転送して再生します。動画を滑らかに再生できます。



お使いのプロジェクターによって、動画再生モードに対応していないことがあります。

関連項目

- 「多彩な画面投写機能」 p.6
- 「動画ファイルを投写する」 p.37

プレゼンテーションモード

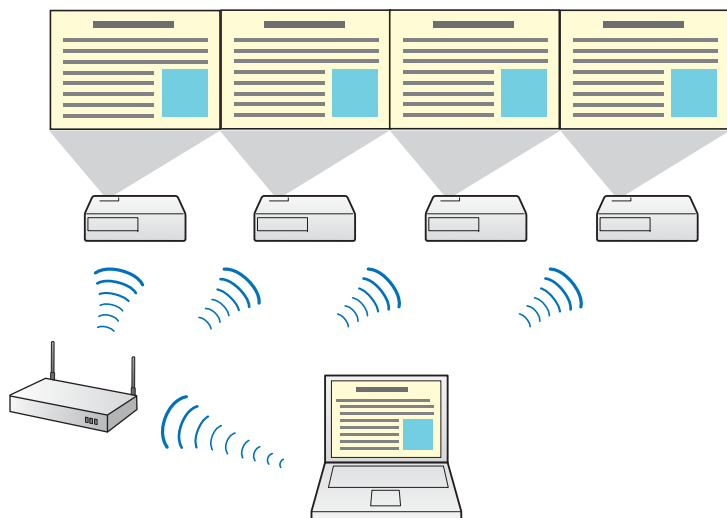
PowerPointのスライドショーを実行したときのみ、コンピューターの画面を投写します。コンピューターの準備操作など、見せたくない画面は投写しないで、スムーズにプレゼンテーションを開始できます。PowerPointのスライドショーを実行していないときは、黒画面を投写します。

関連項目

- 「多彩な画面投写機能」 p.6
- 「PowerPointのスライドショーだけを投写する」 p.36

分配機能

1台のコンピューターの画面を、同一のネットワークに接続された最大4台のプロジェクターに同時に投写します。



複数のコンピューターから1台のプロジェクターに同時に接続することはできません。

関連項目

- 「多彩な画面投写機能」 [p.6](#)
- 「1台のコンピューターの画面を複数のプロジェクターに投写する。」 [p.49](#)

EasyMP Network Projectionでコンピューターとプロジェクターをネットワーク接続するには、お使いの環境にあわせた接続モードを利用できます。

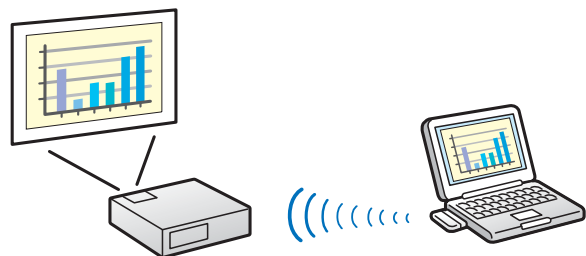
関連項目

- 「EasyMP Network Projectionについて」 [p.4](#)
- 「かんたんモード」 [p.8](#)
- 「マニュアルモード」 [p.8](#)

かんたんモード

プロジェクターとコンピューターを無線で直接接続します。煩雑なネットワーク設定をせずにコンピューターの画面を投写できます。

プロジェクターに無線LANユニットを装着しているときに限り、かんたんモードは実行できます。

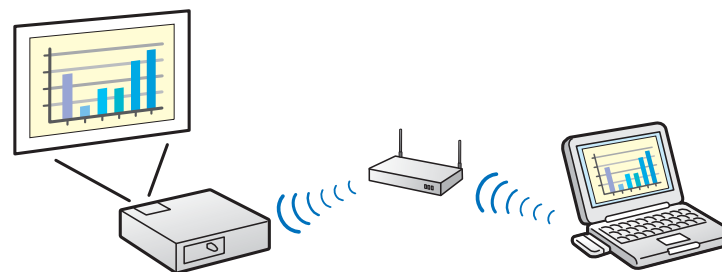


関連項目

- 「接続モード」 [p.8](#)
- 「かんたんモードで接続するときの設定方法」 [p.14](#)
- 「プロジェクターとコンピューターを無線で直接接続する」 [p.18](#)

マニュアルモード

すでに構築されているネットワークシステムに、プロジェクターとコンピューターを接続します。マニュアルモードでは、プロジェクターをアクセスポイント、またはネットワークハブに接続します。



関連項目

- 「接続モード」 [p.8](#)
- 「マニュアルモードで接続するときの設定方法（無線LAN）」 [p.15](#)
- 「マニュアルモードで接続するときの設定方法（有線LAN）」 [p.15](#)
- 「プロジェクターとコンピューターを無線LANで接続する」 [p.20](#)
- 「プロジェクターとコンピューターを有線LANで接続する」 [p.21](#)



はじめてEasyMP Network Projectionを使うときの準備

プロジェクターとコンピューターをネットワーク経由で接続するために必要な準備をします。

関連項目

- 「ソフトウェアをインストールする」 [p.10](#)
- 「プロジェクターを設定する」 [p.13](#)

プロジェクターに同梱のEPSON Projector Software CD-ROMから、EasyMP Network Projectionをインストールします。



- インストール時に選択した言語が、使用しているオペレーティングシステムの言語と異なるときは、画面が正しく表示されないことがあります。
- EasyMP Network Projectionの最新バージョンは、EPSONのWebサイトからダウンロードできます。
- コンピューターにEasyMP Network Projectionの旧バージョンがインストールされているときは、旧バージョンをアンインストールしてから最新バージョンのEasyMP Network Projectionをインストールしてください。

関連項目

- 「はじめてEasyMP Network Projectionを使うときの準備」 [p.9](#)
- 「EasyMP Network Projectionシステム動作条件」 [p.10](#)
- 「EasyMP Network Projectionをインストールする（Windows）」 [p.11](#)
- 「EasyMP Network Projectionをインストールする（Mac OS X）」 [p.11](#)
- 「ソフトウェアの最新バージョンを入手する」 [p.80](#)

EasyMP Network Projectionシステム動作条件

EasyMP Network Projectionは、次の条件を満たすコンピューターで動作します。

条件	Windows	Mac
OS	Windows XP <ul style="list-style-type: none"> • Professional(32ビット) • Home Edition(32ビット) • Tablet PC Edition(32ビット) 	Mac OS X <ul style="list-style-type: none"> • 10.4.x(32ビット) • 10.5.1以上(32ビット) • 10.6.x(32/64ビット) • 10.7.x(32/64ビット) • 10.8.x(64ビット) (推奨: Mac OS X 10.4.11/10.5.8/10.6.8/10.7.3/10.8.0)
	Windows Vista <ul style="list-style-type: none"> • Ultimate(32ビット) • Enterprise(32ビット) • Business(32ビット) • Home Premium(32ビット) • Home Basic(32ビット) 	
	Windows 7 <ul style="list-style-type: none"> • Ultimate(32/64ビット) • Enterprise(32/64ビット) • Professional(32/64ビット) • Home Premium(32/64ビット) • Home Basic(32ビット) • Starter(32ビット) 	
	Windows 8 <ul style="list-style-type: none"> • Windows 8(32/64ビット) • Windows 8 Pro(32/64ビット) • Windows 8 Enterprise(32/64ビット) 	
CPU	Mobile Pentium III 1.2 GHz以上 (推奨: Pentium M 1.6 GHz以上)	Power PC G3 900 MHz以上 (推奨: CoreDuo 1.83 GHz以上)
メモリー容量	256 MB以上 (推奨: 512 MB以上)	
ハードディスク空き容量	20 MB以上	

条件	Windows	Mac
ディスプレイ	1024 × 768(XGA)以上、1920 × 1200(WUXGA)以下の解像度 16ビットカラー以上の表示色(約32000色の表示色)	



- Service PackがインストールされていないWindows XPとWindows XP Service Pack 1は動作保証の対象外です。
- Mac OS X 10.5.0はバージョンアップ時にファイアウォールの設定が正しく行われなかったため、動作保証の対象外です。

関連項目

- 「ソフトウェアをインストールする」 [p.10](#)

EasyMP Network Projectionをインストールする (Windows)

EasyMP Network Projectionをお使いのコンピューターにインストールします。



コンピューターにソフトウェアをインストールするには、管理者権限が必要です。

- 1** コンピューターの電源を入れます。
- 2** 起動中のアプリケーションがないことを確認します。
- 3** コンピューターにEPSON Projector Software CD-ROMをセットします。
自動的にセットアッププログラムが起動します。

- 4** 自動的にインストールが開始されないときは、[マイコンピュータ](または[コンピュータ])からCD-ROMドライブを開き、[InstallNavi.exe]または[EMP_NSCInst.exe]をダブルクリックします。

- 5** 画面の指示に従って、インストールを進めます。

関連項目

- 「ソフトウェアをインストールする」 [p.10](#)

EasyMP Network Projectionをインストールする (Mac OS X)

EasyMP Network Projectionをお使いのコンピューターにインストールします。

- 1** コンピューターの電源を入れます。
- 2** 起動中のアプリケーションがないことを確認します。
- 3** コンピューターにEPSON Projector Software CD-ROMをセットします。
- 4** EPSONウィンドウで[EMP_NPInstaller.mpkg]アイコンをダブルクリックします。
インストール画面が表示されます。
- 5** 画面の指示に従って、インストールを進めます。

関連項目

- 「ソフトウェアをインストールする」 [p.10](#)

コンピューターとプロジェクターの接続方法を決めて、プロジェクターの設定をします。

関連項目

- 「はじめてEasyMP Network Projectionを使うときの準備」 p.9
- 「使用するネットワーク環境に適した接続方法」 p.13
- 「かんたんモードで接続するときの設定方法」 p.14
- 「マニュアルモードで接続するときの設定方法（無線LAN）」 p.15
- 「マニュアルモードで接続するときの設定方法（有線LAN）」 p.15

使用するネットワーク環境に適した接続方法

お使いのネットワーク環境に適した接続方法を選択できます。

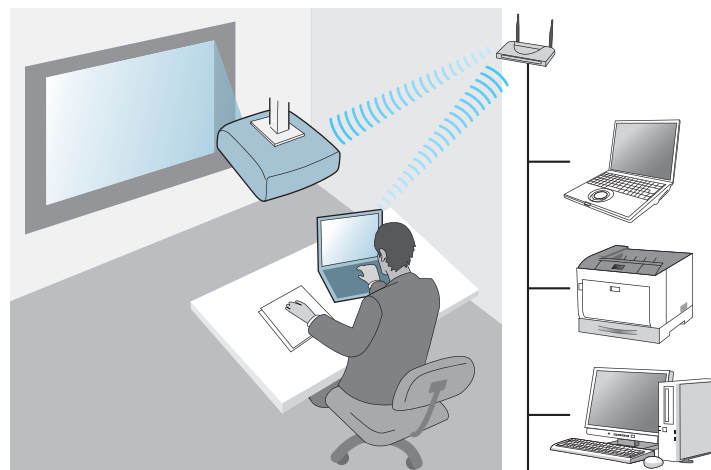
プロジェクターのネットワークへの接続方法(無線/有線)と、コンピューターからプロジェクターまでの通信経路を確認します。

機種により、使用できない接続方法があります。詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。

- プロジェクターとコンピューターを無線で直接接続する
かんたんモード

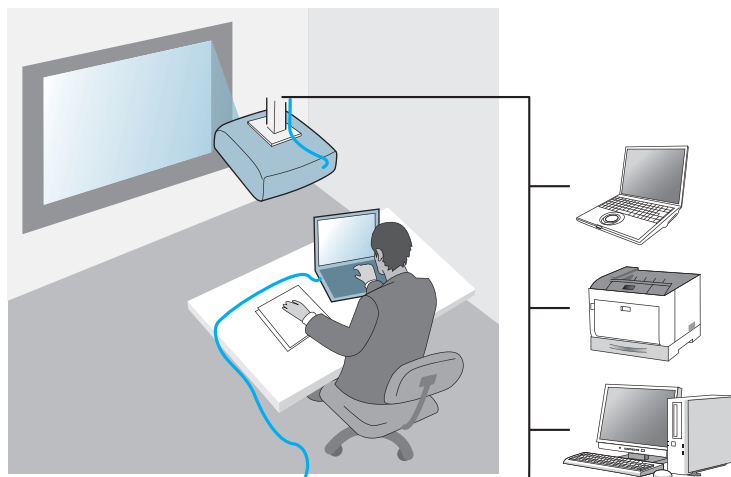


- プロジェクターとコンピューターを無線LANのネットワーク環境に接続する
マニュアルモード



- プロジェクターとコンピューターを有線LANのネットワーク環境に接続する

マニュアルモード



関連項目

- 「プロジェクターを設定する」 [p.13](#)
- 「かんたんモードで接続するときの設定方法」 [p.14](#)
- 「マニュアルモードで接続するときの設定方法（無線LAN）」 [p.15](#)
- 「マニュアルモードで接続するときの設定方法（有線LAN）」 [p.15](#)

かんたんモードで接続するときの設定方法

コンピューターとプロジェクターを無線で直接接続するために、コンピューターとプロジェクターのネットワーク設定をします。

- 1 コンピューターで無線LANを使えるようにネットワーク設定をします。詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- 2 必要に応じて、プロジェクターに無線LANユニットを装着します。詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。

- 3 プロジェクターの電源を入れます。

- 4 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押します。[ネットワーク]から[ネットワーク設定画面へ]を選択します。

- 5 [無線LAN]メニューを選択します。次の画面のどちらかが表示されます。



- 6 [無線LAN電源]を[オン]に設定します。

- 7 [接続モード]を[かんたんモード]に設定します。

- 8 必要に応じて他の項目を設定します。詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。

- 9 必要に応じて、[セキュリティ]メニューでセキュリティ設定を選択します。セキュリティの設定の内容は、ネットワーク管理者の指示に従ってください。

- 10 設定が終了したら、[設定完了]を選択します。

関連項目

- ・「プロジェクターを設定する」 p.13
- ・「プロジェクターとコンピューターを無線で直接接続する」 p.18

マニュアルモードで接続するときの設定方法(無線LAN)

無線LAN環境でコンピューターとプロジェクターを接続するために、コンピューターとプロジェクターのネットワーク設定をします。

- 1 接続するアクセスポイントの設定(SSID、セキュリティ)を、ネットワーク管理者に確認します。
- 2 コンピューターをネットワークに接続します。



接続されていないときは、コンピューターでネットワーク設定をします。詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- 3 必要に応じて、プロジェクターに無線LANユニットを装着します。詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。
- 4 プロジェクターの電源を入れます。
- 5 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押します。【ネットワーク】から【ネットワーク設定画面へ】を選択します。
- 6 【無線LAN】メニューを選択します。次の画面のどちらかが表示されます。



- 7 【無線LAN電源】を【オン】に設定します。
- 8 【接続モード】を【マニュアルモード】に設定します。
- 9 SSIDやIPアドレスなどネットワーク接続に必要な項目を設定します。詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。
- 10 必要に応じて、【セキュリティ】メニューでセキュリティ設定を選択します。セキュリティの設定の内容は、ネットワーク管理者の指示に従ってください。
- 11 設定が終了したら、【設定完了】を選択します。

関連項目

- ・「プロジェクターを設定する」 p.13
- ・「プロジェクターとコンピューターを無線LANで接続する」 p.20

マニュアルモードで接続するときの設定方法(有線LAN)

有線LAN環境でコンピューターとプロジェクターを接続するために、コンピューターとプロジェクターのネットワーク設定をします。

1 お使いのネットワーク環境でDHCPを使用できるか、ネットワーク管理者に確認します。



DHCPを使用できないときは、プロジェクターに設定する次の値を確認します。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイアドレス

2 コンピューターをネットワークに接続します。



接続されていないときは、コンピューターでネットワーク設定をします。詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

3 プロジェクターにLANケーブルを接続します。

4 プロジェクターの電源を入れます。

5 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押します。【ネットワーク】から【ネットワーク設定画面へ】を選択します。

6 【有線LAN】メニューを選択します。
次の画面のどちらかが表示されます。



7 必要に応じて、IP設定を選択します。

- DHCPを使用できる場合：[DHCP]を[オン]に設定します。
- DHCPを使用できない場合：[DHCP]を[オフ]に設定して、プロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力します。

8 設定が終了したら、【設定完了】を選択します。

関連項目

- 「プロジェクターを設定する」 [p.13](#)
- 「プロジェクターとコンピューターを有線LANで接続する」 [p.21](#)

プロジェクターに接続して画面を投写する

コンピューターとプロジェクターをネットワーク経由で接続して、コンピューターの画面をプロジェクターで投写します。
事前にEasyMP Network Projectionをインストールして、プロジェクターの接続モードを設定しておいてください。

関連項目

- 「接続方法」 [p.18](#)
- 「プロジェクターを検索する」 [p.24](#)
- 「投写する映像を操作する」 [p.31](#)
- 「投写を終了する」 [p.33](#)
- 「プロジェクターを設定する」 [p.13](#)

お使いのネットワーク環境に適した、コンピューターとプロジェクターの接続方法を選択します。

関連項目

- 「プロジェクターに接続して画面を投写する」 [p.17](#)
- 「プロジェクターとコンピューターを無線で直接接続する」 [p.18](#)
- 「プロジェクターとコンピューターを無線LANで接続する」 [p.20](#)
- 「プロジェクターとコンピューターを有線LANで接続する」 [p.21](#)

プロジェクターとコンピューターを無線で直接接続する

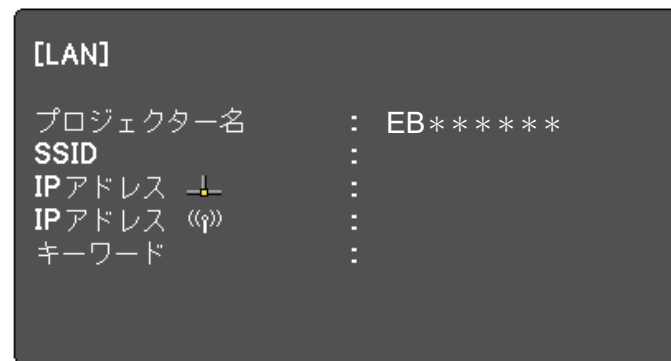
プロジェクターとコンピューターを無線で直接接続して、画面を投写します。接続する前に次の準備をしてください。

- プロジェクターに無線LANユニットを装着する
- プロジェクターの接続モードを[かんたんモード]に設定する



- プロジェクターとコンピューターを無線で直接接続するときは、コンピューターとアクセスポイントとの接続が切断されます。
- コンピューターの無線LAN機能をオンにしてください。

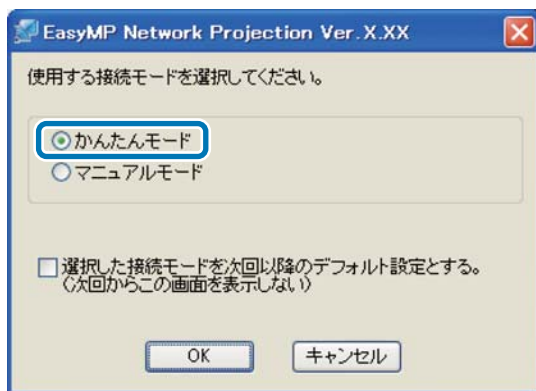
- 1** リモコンの[LAN]ボタンを押します。
LAN待機画面が表示されます。



- 2** コンピューターでEasyMP Network Projectionを起動します。

- Windows XP/Windows Vista/Windows 7の場合：[スタート] - [プログラム] (または[すべてのプログラム]) - [EPSON Projector] - [EasyMP Network Projection] - [EasyMP Network Projection Ver.X.XX]の順に選択します。
- Windows 8の場合: チャームバーを表示して、[検索] - [EasyMP Network Projection Ver.X.XX]の順に選択します。
- Mac OS Xの場合：[アプリケーション]フォルダーから[EasyMP Network Projection]をダブルクリックします。

- 3** [かんたんモード]を選択して、[OK]をクリックします。



プロジェクターが検索され、検索結果が表示されます。

4 接続したいプロジェクターが検索されないときは、次の方法でプロジェクターを検索します。

- 自動検索：自動で検索します。
- 指定検索：SSIDを選択して検索します。
- プロファイル：作成済みのプロファイルを使って検索します。

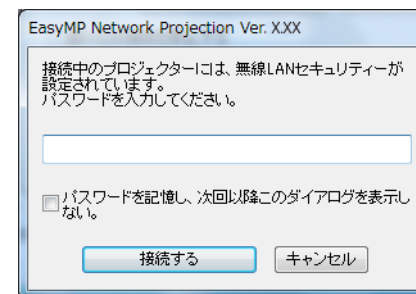
5 接続するプロジェクターにチェックを付け、[接続する]をクリックします。

プロジェクター側でプロジェクターキーワードを[オン]にしているときは、キーワードを入力する画面が表示されます。

6 プロジェクターキーワードとパスフレーズを入力します。

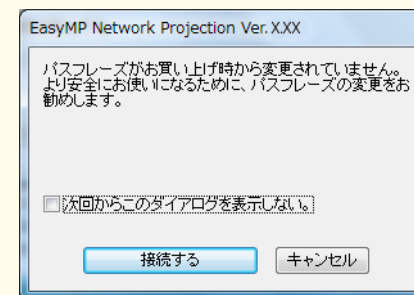
- Windows XP/Mac OS Xの場合：LAN待機画面に表示されているキーワードを入力し、[OK]をクリックします。

- Windows Vista/Windows 7/Windows 8の場合：LAN待機画面に表示されているキーワードを入力し、[OK]をクリックします。次の画面が表示されるときは、プロジェクターに設定したパスワードを入力し、[接続する]をクリックします。



[パスワードを記憶し、次回以降このダイアログを表示しない。]にチェックを付けると、接続するプロジェクターのSSIDとパスフレーズをコンピューターに登録します。次回以降はパスワードの入力を省略できます。

プロジェクターのパスフレーズが初期値から変更されていないときは、次の画面が表示されます。プロジェクターの[ネットワーク]メニューからパスフレーズを変更してください。



接続が完了すると、コンピューター画面の映像が投写されます。コンピューター画面には次のようなEasyMP Network Projectionのツールバーが表示されます。



ネットワーク接続以外の入力信号がないときは、コンピューターと接続すると、入力ソースが自動でLANソースに切り替わります。自動でLANソースに切り替わらないときは、リモコンの【LAN】ボタンを押してください。

関連項目

- 「接続方法」 [p.18](#)
- 「かんたんモードで接続するときの設定方法」 [p.14](#)
- 「自動で検索する」 [p.24](#)
- 「SSID、IPアドレス、またはプロジェクター名を指定して検索する」 [p.25](#)
- 「プロファイルを指定して検索する」 [p.26](#)

プロジェクターとコンピューターを無線LANで接続する

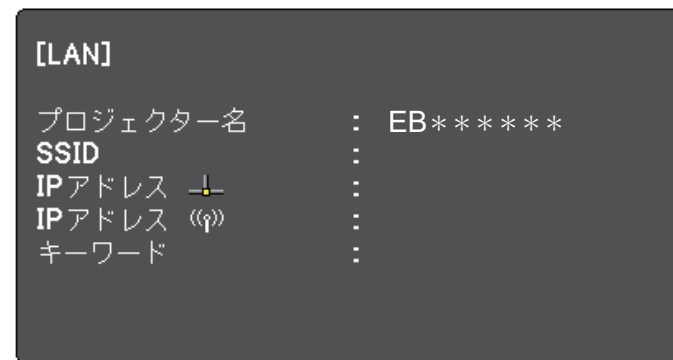
お使いのネットワーク環境にプロジェクターを接続して、画面を投写します。接続する前に次の準備をしてください。

- プロジェクターに無線LANユニットを装着する
- プロジェクターの接続モードを[マニュアルモード]に設定する



コンピューターをネットワークに接続してください。

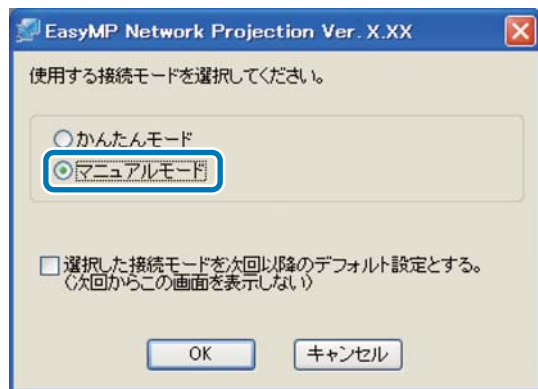
- 1 リモコンの【LAN】ボタンを押します。
LAN待機画面が表示されます。



- 2 コンピューターでEasyMP Network Projectionを起動します。

- Windows XP/Windows Vista/Windows 7の場合：[スタート] - [プログラム] (または[すべてのプログラム]) - [EPSON Projector] - [EasyMP Network Projection] - [EasyMP Network Projection Ver.X.XX]の順に選択します。
- Windows 8の場合：チャームバーを表示して、[検索] - [EasyMP Network Projection Ver.X.XX]の順に選択します。
- Mac OS Xの場合：[アプリケーション]フォルダーから[EasyMP Network Projection]をダブルクリックします。

- 3 [マニュアルモード]を選択して、[OK]をクリックします。



プロジェクターが検索され、検索結果が表示されます。

4 接続したいプロジェクターが検索されないときは、次の方法でプロジェクターを検索します。

- 自動検索：自動で検索します。
- 指定検索：プロジェクターのIPアドレス、またはプロジェクター名を指定して検索します。
- プロファイル：作成済みのプロファイルを使って検索します。

5 接続するプロジェクターにチェックを付け、[接続する]をクリックします。

プロジェクター側でプロジェクターキーワードを[オン]にしているときは、キーワードを入力する画面が表示されます。

6 LAN待機画面に表示されているキーワードを入力し、[OK]をクリックします。

接続が完了すると、コンピューター画面の映像が投写されます。コンピューターの画面には次のようなEasyMP Network Projectionのツールバーが表示されます。



ネットワーク接続以外の入力信号がないときは、コンピューターと接続すると、入力ソースが自動でLANソースに切り替わります。自動でLANソースに切り替わらないときは、リモコンの【LAN】ボタンを押してください。

関連項目

- 「接続方法」 [p.18](#)
- 「マニュアルモードで接続するときの設定方法（無線LAN）」 [p.15](#)
- 「自動で検索する」 [p.24](#)
- 「SSID、IPアドレス、またはプロジェクター名を指定して検索する」 [p.25](#)
- 「プロファイルを指定して検索する」 [p.26](#)

プロジェクターとコンピューターを有線LANで接続する

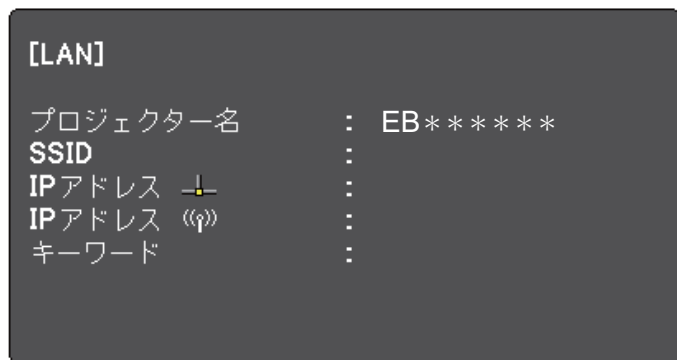
お使いのネットワーク環境にプロジェクターを接続して、画面を投写します。接続する前に次の準備をしてください。

- プロジェクターにLANケーブルを接続する
- プロジェクターの接続モードを[マニュアルモード]に設定する



コンピューターをネットワークに接続してください。

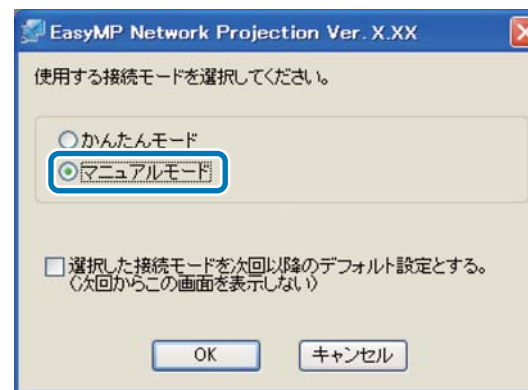
- 1** リモコンの【LAN】ボタンを押します。
LAN待機画面が表示されます。



- 2** コンピューターでEasyMP Network Projectionを起動します。

- Windows XP/Windows Vista/Windows 7の場合：[スタート] - [プログラム] (または [すべてのプログラム]) - [EPSON Projector] - [EasyMP Network Projection] - [EasyMP Network Projection Ver.X.XX]の順に選択します。
- Windows 8の場合：チャームバーを表示して、[検索] - [EasyMP Network Projection Ver.X.XX]の順に選択します。
- Mac OS Xの場合：[アプリケーション]フォルダーから[EasyMP Network Projection]をダブルクリックします。

- 3** 【マニュアルモード】を選択して、【OK】をクリックします。



プロジェクターが検索され、検索結果が表示されます。

- 4** 接続したいプロジェクターが検索されないときは、次の方法でプロジェクターを検索します。

- 自動検索：自動で検索します。
- 指定検索：プロジェクターのIPアドレス、またはプロジェクター名を指定して検索します。
- プロファイル：作成済みのプロファイルを使って検索します。

- 5** 接続するプロジェクターにチェックを付け、【接続する】をクリックします。

プロジェクター側でプロジェクターキーワードを【オン】にしているときは、キーワードを入力する画面が表示されます。

- 6** LAN待機画面に表示されているキーワードを入力し、【OK】をクリックします。

接続が完了すると、コンピューター画面の映像が投写されます。コンピューターの画面には次のようなEasyMP Network Projectionのツールバーが表示されます。



ネットワーク接続以外の入力信号がないときは、コンピューターと接続すると、入力ソースが自動でLANソースに切り替わります。自動でLANソースに切り替わらないときは、リモコンの【LAN】ボタンを押してください。

関連項目

- 「接続方法」 [p.18](#)
- 「マニュアルモードで接続するときの設定方法（有線LAN）」 [p.15](#)
- 「自動で検索する」 [p.24](#)
- 「SSID、IPアドレス、またはプロジェクター名を指定して検索する」 [p.25](#)
- 「プロファイルを指定して検索する」 [p.26](#)

接続するプロジェクターのネットワーク環境、または設置場所に応じてプロジェクターを検索します。

関連項目

- 「プロジェクターに接続して画面を投写する」 [p.17](#)
- 「検索方法」 [p.24](#)
- 「自動で検索する」 [p.24](#)
- 「SSID、IPアドレス、またはプロジェクター名を指定して検索する」 [p.25](#)
- 「プロファイルを使って検索する」 [p.26](#)

検索方法

次のいずれかの方法で、接続するプロジェクターを検索できます。お使いのネットワーク環境に適した方法を選んでください。

- 自動で検索する
コンピューターが接続しているネットワーク環境の中で、接続可能なプロジェクターを自動で検索できます。
検索方法は接続モードによって異なります。
 - **かんたんモード:** SSIDにより接続可能なプロジェクターを検索します。
 - **マニュアルモード:** ネットワーク上の接続可能なプロジェクターを検索します。同一のサブネット内のプロジェクターを検索できます。サブネットの異なる場所にあるプロジェクターは検索されません。

- **SSID、IPアドレス、またはプロジェクター名を指定して検索する**
接続するプロジェクターが自動で検索されないときは、SSID、IPアドレス、またはプロジェクター名を指定してプロジェクターを検索できます。マニュアルモードでは、サブネットの異なる離れた場所にあるプロジェクターを検索できます。
- **プロファイルを使って検索する**
プロジェクター情報をプロファイルとして保存できます。検索時にプロファイルを指定すると、プロジェクターの詳細情報を入力しなくても、プロジェクターを検索できます。プロジェクターを設置している場所ごとにプロファイルのグループを作ってフォルダーで管理すると、目的のプロジェクターを素早く見つけることができます。

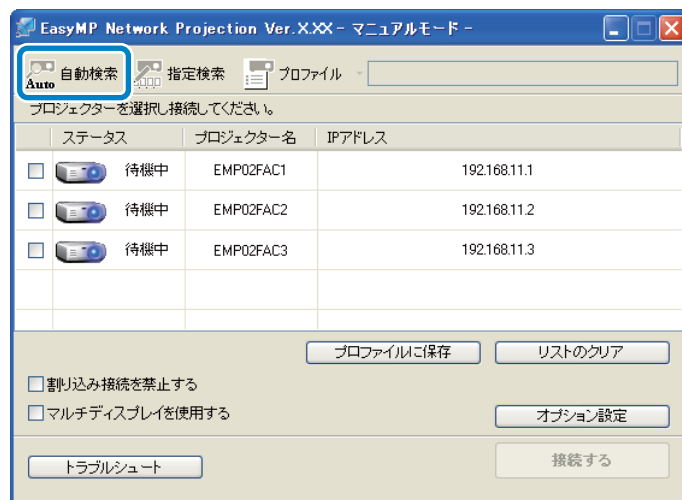
関連項目

- 「プロジェクターを検索する」 [p.24](#)

自動で検索する

ネットワーク上の接続可能なプロジェクターを自動で検索します。プロジェクターを選択するだけで、映像を投写できます。

接続画面で[自動検索]をクリックします。検索には30秒程度かかります。



プロジェクターが検索され、検索結果が表示されます。

接続するプロジェクターが検索されないときは、他の検索方法を試してください。

関連項目

- 「プロジェクターを検索する」 p.24
- 「SSID、IPアドレス、またはプロジェクター名を指定して検索する」 p.25
- 「プロフィールを指定して検索する」 p.26
- 「検索方法」 p.24

SSID、IPアドレス、またはプロジェクター名を指定して検索する

接続したいプロジェクターが自動で検索されないときに、SSID、IPアドレス、またはプロジェクター名を指定してプロジェクターを検索しま

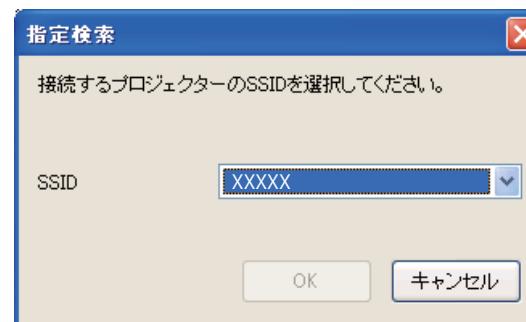
す。かんたんモードでは、プロジェクターのSSIDを指定してプロジェクターを検索します。マニュアルモードでは、プロジェクターのIPアドレス、またはプロジェクター名を指定して検索します。

1 [指定検索]をクリックします。

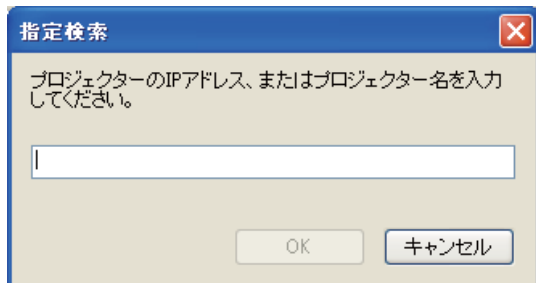


2 次のいずれかの項目を指定して、[OK]をクリックします。

- かんたんモード：一覧から接続したいプロジェクターのSSIDを選択します。



- マニュアルモード: 接続したいプロジェクターのIPアドレス、またはプロジェクター名を入力します。



プロジェクターが検索され、検索結果が表示されます。

関連項目

- 「プロジェクターを検索する」 p.24

プロファイルを使って検索する

プロジェクター情報をプロファイルとして保存します。検索時にプロファイルを使用すると、プロジェクターの詳細を指定しなくても、プロジェクターを検索できます。

関連項目

- 「プロジェクターを検索する」 p.24
- 「プロファイルとは」 p.26
- 「プロファイルを指定して検索する」 p.26
- 「プロファイルを作成する」 p.27
- 「プロファイルを管理する」 p.28

プロファイルとは

よく使うプロジェクターは、プロファイルとして保存することができます。プロファイルとはプロジェクター名、IPアドレス、SSIDなどのプロジェクター情報をひとまとめにしたファイルです。検索時にプロファイルを指定すると、IPアドレスやプロジェクター名を指定しなくてもプロジェクターを簡単に検索できます。

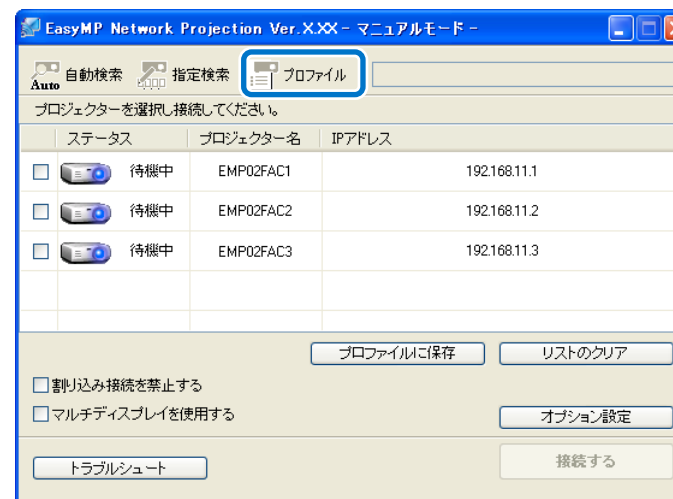
関連項目

- 「プロファイルを使って検索する」 p.26

プロファイルを指定して検索する

プロファイルを指定して、プロジェクターを検索します。

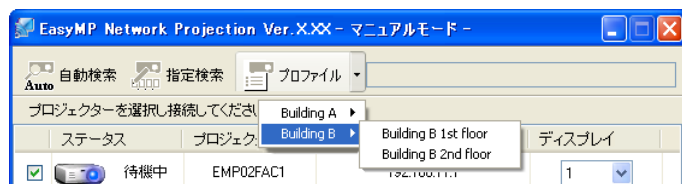
- 1 接続画面で[プロファイル]をクリックします。





プロファイルを作成していないときは、[プロファイル]は選択できません。

2 一覧から接続したいプロジェクターを選択します。



プロジェクターが検索され、検索結果が表示されます。

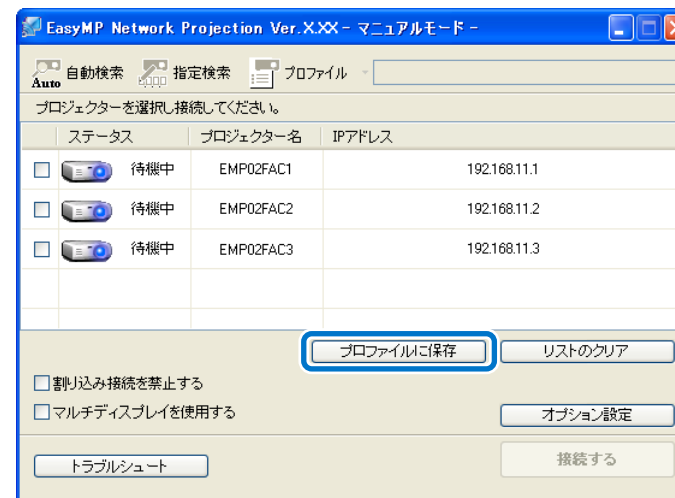
関連項目

- 「プロファイルを使って検索する」 p.26

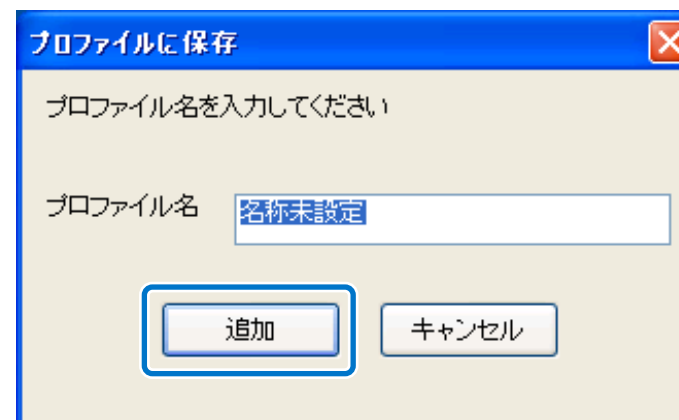
プロファイルを作成する

プロジェクターを検索した結果を、プロファイルとして保存します。分かりやすい名前で作成しておくと、次回からはそのプロファイルを使ってプロジェクターを検索できます。

1 以下の画面にプロジェクターが表示された状態で、[プロファイルに保存]をクリックします。



2 プロファイル名を入力し、[追加]をクリックします。

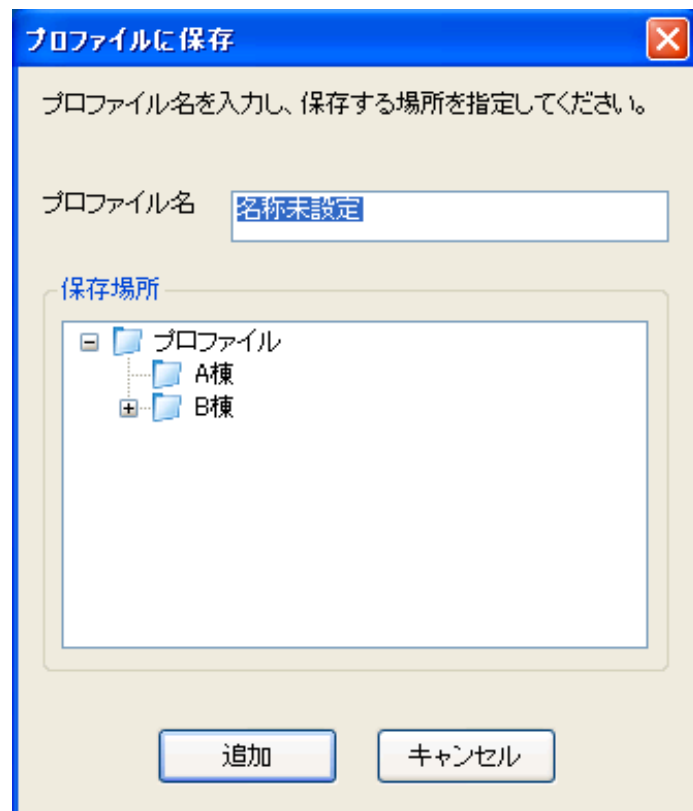


3 必要に応じて、次の操作を行ってください。

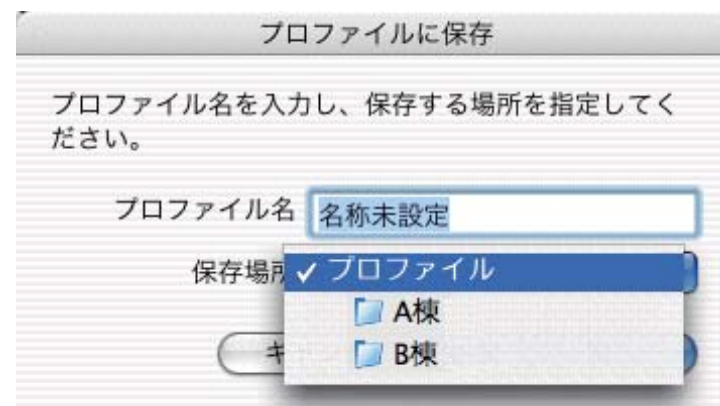
- 上書き保存を確認する画面が表示された場合：別名で保存するときは[別名で保存]をクリックします。

- フォルダを選択する画面が表示された場合：プロファイルにフォルダを作成するときは次の画面が表示されます。プロファイル名を入力し、[保存場所]を選択してから[追加]をクリックします。

Windowsの場合：



Mac OS Xの場合：



プロジェクター情報がプロファイルに保存されます。

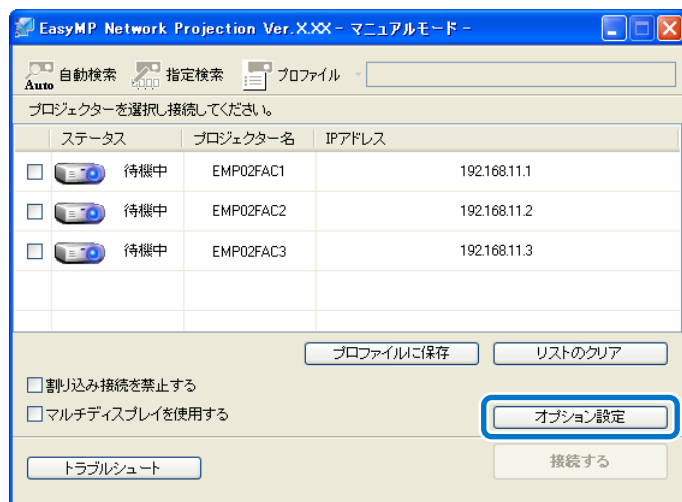
関連項目

- 「プロファイルを使って検索する」 [p.26](#)

プロファイルを管理する

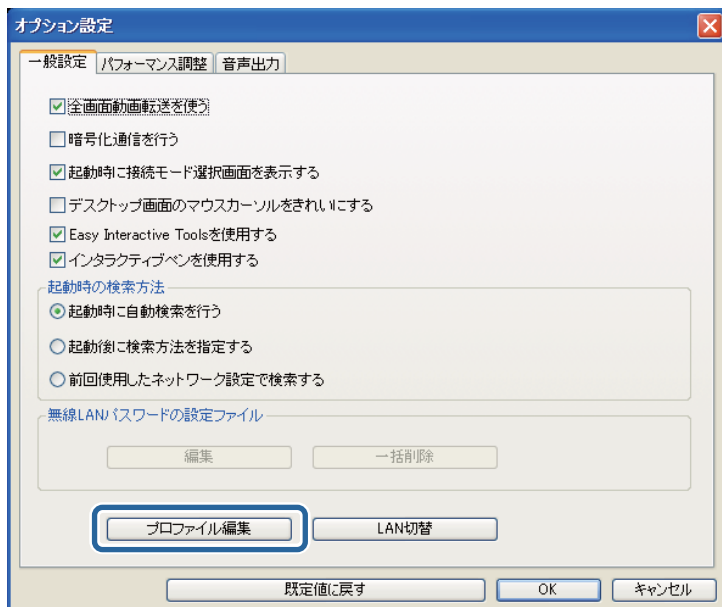
プロファイルの名称や階層構成を変更します。

- 1** 以下の画面で[オプション設定]をクリックします。



オプション設定画面が表示されます。

2 【プロフィール編集】をクリックします。



プロフィール編集画面が表示されます。

3 プロファイルの登録内容を編集します。



- 登録されているプロフィールが表示されます。プロフィール、またはフォルダーをドラッグ&ドロップして、フォルダー構成を変更できます。
- プロフィールを複製します。複製したプロフィールは、複製元ファイルの名称と同じ名称で複製元のファイルと同じフォルダーに保存されます。
- プロフィール、またはフォルダーを削除します。
- 名称変更ダイアログが表示され、フォルダー名、またはプロフィール名を変更できます。名称変更ダイアログで入力できる文字数は32文字までです。
- プロフィールを出力します。出力したプロフィールは、バックアップとして保存したり、他のコンピューターにインポートして利用できます。
- エクスポートで出力したプロフィールを読み込みます。
- 新しいフォルダーを作成します。
- 選択プロフィール情報

- 8 プロファイルに登録されているプロジェクター情報が表示されます。プロジェクターを選択して、[削除]をクリックすると、選択したプロジェクターの情報がプロファイルから削除されます。すべてのプロジェクター情報を削除すると、そのプロファイルも削除されます。

4 [OK]をクリックします。

編集した結果が保存されて、プロファイル編集画面が閉じます。

関連項目

- 「プロファイルを使って検索する」 [p.26](#)

ツールバーを使って、投写する映像を操作します。

関連項目


- 「プロジェクターに接続して画面を投写する」 [p.17](#)
- 「投写画面を一時的に消す・停止する」 [p.31](#)
- 「入力ソースを切り替える」 [p.31](#)

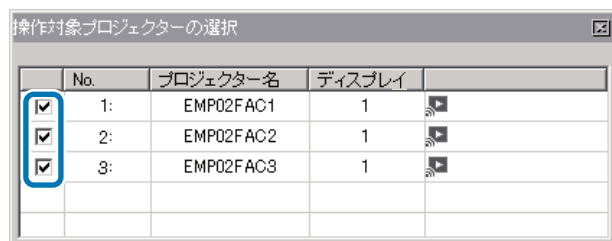
投写画面を一時的に消す・停止する

投写中の映像を一時的に消したり、停止して、プレゼンテーション中のコンピューターでの操作を聴衆から隠します。





- 1 ツールバーの表示状態を [Full] にします。





- 2 複数台のプロジェクターに接続しているときは、ツールバーの  をクリックし、操作対象のプロジェクターを選択します。



- 3 以下のいずれかの操作を行います。

- 停止：ツールバーの  をクリックします。
投写中の映像が停止します。停止中は、黒画面が投写されます。
- 一時停止：ツールバーの  をクリックします。
投写中の映像の動きが一時的に停止します。現在の画面を表示したまま静止します。
- AVミュート：ツールバーの  をクリックし、表示されたツールバーで  をクリックします。
投写中の映像と音声が消えます。AVミュート中は、プロジェクターに設定してあるロゴが投写されます。

- 4 投写中の映像に戻るためには、次のいずれかの操作を行います。

- 停止または一時停止：ツールバーの  をクリックします。
- AVミュート： を再度クリックします。

関連項目


- 「投写する映像を操作する」 [p.31](#)

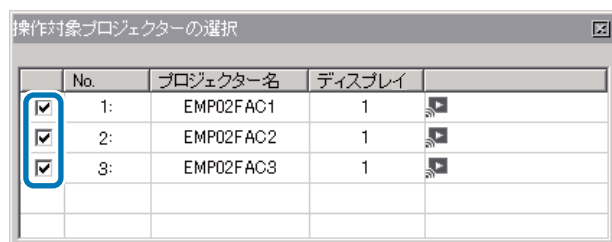
入力ソースを切り替える

ネットワーク経由で投写中に他の映像信号が入力されたときに、ツールバーから入力ソースを切り替えることができます。

- 1 ツールバーの表示状態を [Full] にします。





- 2** 複数台のプロジェクターに接続しているときは、ツールバーの  をクリックし、操作対象のプロジェクターを選択します。



- 3** ツールバーの  をクリックします。

- 4** 次のいずれかの操作を行います。

- コンピュータソースへの切り替え :  をクリックします。
- ビデオソースへの切り替え :  をクリックします。

関連項目

- 「投写する映像を操作する」 [p.31](#)

ツールバーを使って、投写を終了します。

 Disconnect

をクリックして、プロジェクターとの接続を終了します。

コンピューターとプロジェクターの接続が切断され、LAN待機画面が投写されます。コンピューターの画面には、EasyMP Network Projectionの接続画面が表示されます。

関連項目

- 「プロジェクターに接続して画面を投写する」 [p.17](#)



便利な機能を活用する

EasyMP Network Projectionの便利な機能を活用して、効果的な会議やプレゼンテーションを実現します。

関連項目

- 「接続するコンピューターを切り替える」 [p.35](#)
- 「PowerPoint のスライドショーだけを投写する」 [p.36](#)
- 「動画ファイルを投写する」 [p.37](#)
- 「マルチスクリーンディスプレイ機能を使って画面を投写する」 [p.40](#)
- 「1台のコンピューターの画面を複数のプロジェクターに投写する。」 [p.49](#)

プレゼンターの交代など、別のコンピューターからの接続に切り替えます。



EasyMP Network Projectionの接続画面で、[割り込み接続を禁止する]にチェックを付けているときは、別のコンピューターから接続できません。

1 接続したいコンピューターでEasyMP Network Projectionを起動します。

2 通常の手順で、プロジェクターとコンピューターを接続します。

接続中のコンピューターとの接続が自動的に切断され、後から接続しようとしたコンピューターと接続します。

関連項目

- 「便利な機能を活用する」 [p.34](#)
- 「プロジェクターとコンピューターを無線で直接接続する」 [p.18](#)
- 「プロジェクターとコンピューターを無線LANで接続する」 [p.20](#)
- 「プロジェクターとコンピューターを有線LANで接続する」 [p.21](#)

プレゼンテーションモードを使うと、PowerPointのスライドショーを実行したときのみコンピューターの画面を投写します。コンピューターの準備操作など、見せたくない画面は投写しないで、スムーズにプレゼンテーションを開始できます。PowerPointのスライドショーを実行していないときは、黒画面が投写されます。



Mac OS XのKeynoteもプレゼンテーションモードに対応していません。

1 ツールバーの表示状態を[Full]にします。



2 複数台のプロジェクターに接続しているときは、ツールバーの をクリックし、操作対象のプロジェクターを選択します。



3 ツールバーの をクリックします。

4 コンピューターでPowerPointのスライドショーを実行します。 PowerPointのスライドショーが投写されます。

5 プレゼンテーションモードを終了するには、 を再度クリックします。

関連項目

- 「便利な機能を活用する」 [p.34](#)

動画再生モードを使うと、動画の動きを滑らかに投写します。

関連項目

- 「便利な機能を活用する」 p.34
- 「再生できるファイルの仕様」 p.37
- 「動画再生モードを使う」 p.37

再生できるファイルの仕様

動画再生モードで投写できるファイルは、次の表のとおりです。



デジタル著作権管理(DRM)で保護されたファイルは投写できません。

ファイルタイプ(拡張子)	動画コーデック	音声コーデック	記録品質
.mpg .mpeg	MPEG-2	MPEG-1 Layer 1/2 無音のMPEGコンテンツも再生できます。リニアPCMとAC-3は再生できません。	最高フレームレート：30 fps 最大解像度：1280 × 720
.mp4	MPEG-4 ASP H.264/MPEG-4 AVC	MPEG-4 AAC-LC	
.wmv .asf	WMV9	WMA	

関連項目

- 「動画ファイルを投写する」 p.37

動画再生モードを使う

動画再生モードを使うと、動画ファイルそのものをプロジェクターに直接転送します。このため、コンピュータ上で動画を再生して投写するよりも滑らかに投写できます。

複数のファイルを選択しておき、上から順に繰り返し再生することもできます。



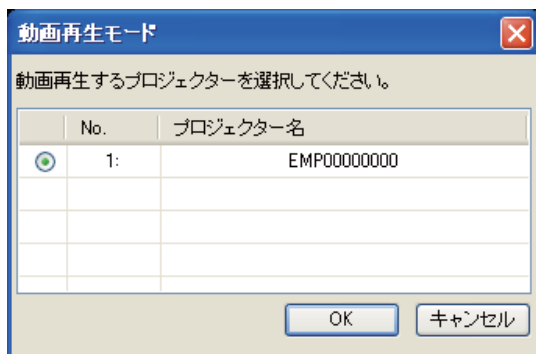
- お使いのプロジェクターによって、動画再生モードに対応していないことがあります。
- 動画再生モードは1台のプロジェクターに対して行えます。複数台のプロジェクターに対して同時に動画再生モードを実行することはできません。
- 通信方式や電波状況によっては映像や音が飛んだり止まったりすることがあります。

1 ツールバーの表示状態を[Full]にします。



2 ツールバーの をクリックします。

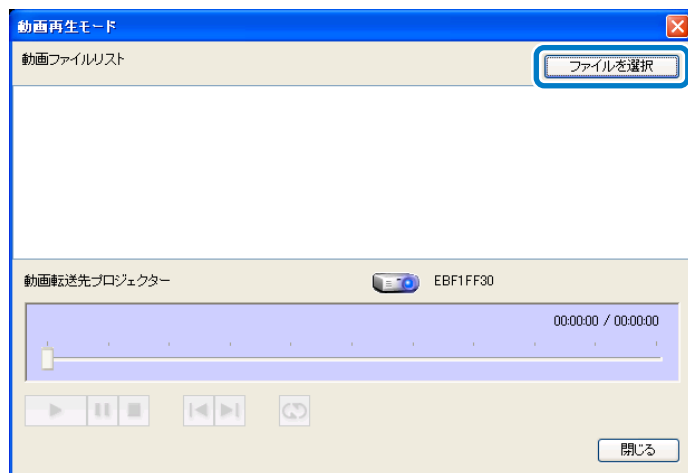
プロジェクターを選択する画面が表示されます。



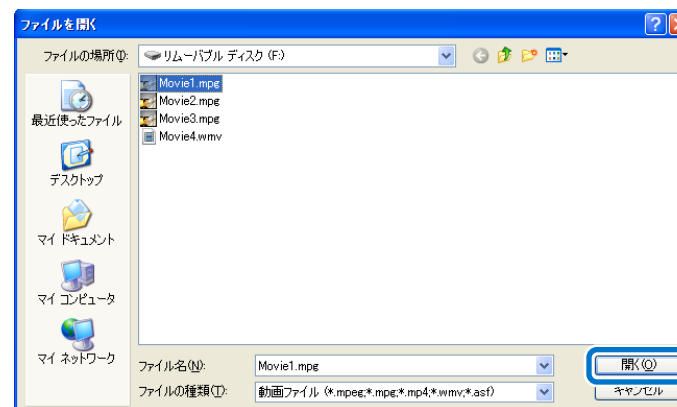
3 動画再生を行うプロジェクターを選択して[OK]をクリックします。

動画再生モード画面が表示されます。

4 [ファイルを選択]をクリックします。



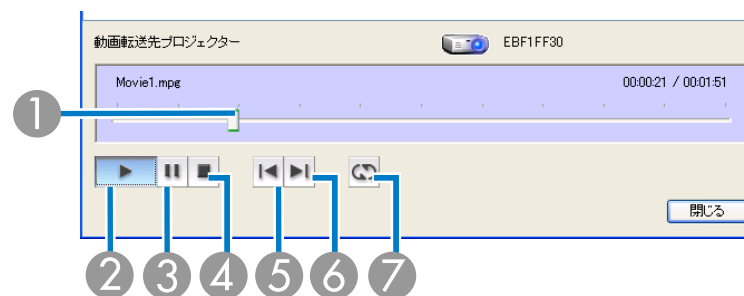
5 再生する動画ファイルを選択して[開く]をクリックします。



動画再生モード画面に戻ります。選択したファイルが動画ファイルリストに表示されます。

再び[ファイルを選択]をクリックして動画ファイルを選択すると、現在表示されている動画ファイルリストが消えて、後から選択したファイルのみがリストに表示されます。

6 動画再生モード画面でファイルの再生、停止を操作します。



① 動画の再生位置を示します。ドラッグ&ドロップしたところからファイルの再生を開始します。

② ファイルを再生します。

③ 再生を一時停止します。

④ 再生を停止します。

- ⑤ 再生中のファイルの先頭から再生します。
- ⑥ 次のファイルの先頭から再生します。
- ⑦ ファイルリストの上から順番に繰り返し再生します。特定のファイルだけを繰り返し再生することはできません。

7 動画再生モードを終了するには、[閉じる]をクリックします。

関連項目

- 「動画ファイルを投写する」 [p.37](#)

マルチスクリーンディスプレイ機能を使うと、1台のコンピューターから4台までのプロジェクターに、それぞれ異なる映像を投写できます。コンピューターのディスプレイに収まらないファイルを大画面で投写することもできます。

関連項目

- 「便利な機能を活用する」 [p.34](#)
- 「マルチスクリーンディスプレイの配置例」 [p.40](#)
- 「マルチスクリーンディスプレイを設定する」 [p.41](#)

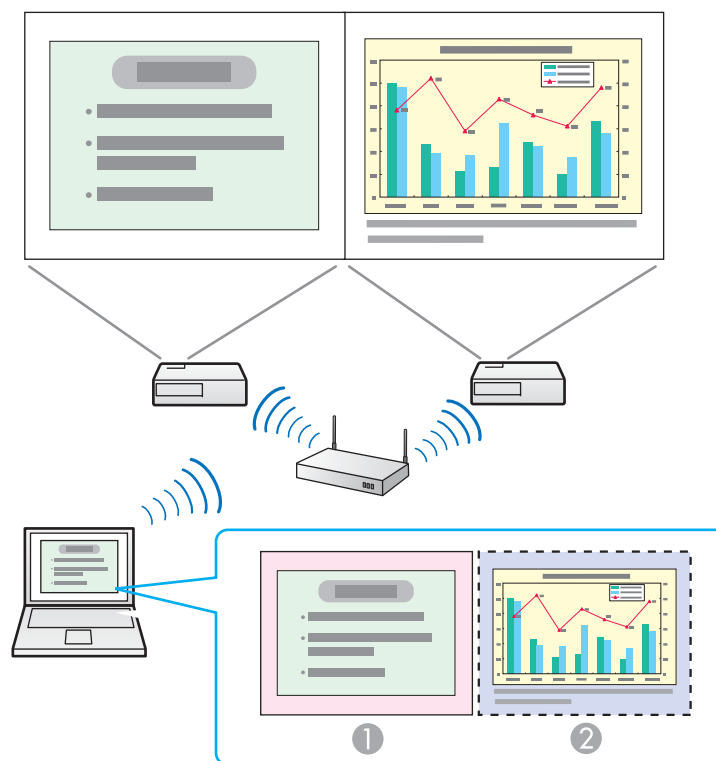
マルチスクリーンディスプレイの配置例

マルチスクリーンディスプレイ機能を使うと、次のようなディスプレイの配置で画面を投写できます。



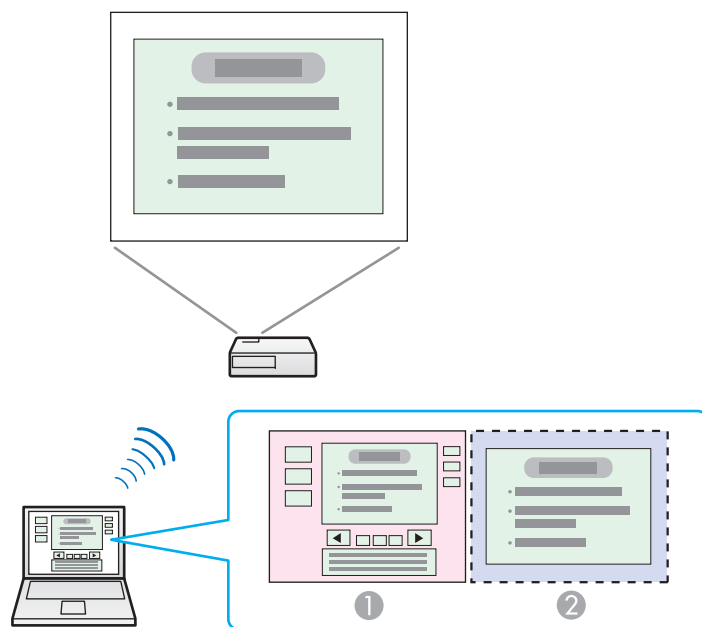
- Windowsの場合は、コンピューターに仮想ディスプレイドライバーを設定し、それぞれの映像をプロジェクターで投写できます。なおWindows Vista、Windows 7、およびWindows 8では、仕様上この機能は使用できません。
- Mac OS X の場合は、マルチスクリーンディスプレイ機能を使用するにはコンピューターに実際に外付けのモニターを接続しておく必要があります。

1台のコンピューターから2台のプロジェクターに異なる映像を投写したいときは、ディスプレイを次のように配置します。



- ① 実際のモニター映像：PowerPoint ファイル
- ② 追加したディスプレイの映像：Excel ファイル

コンピューター上の2つの映像のうち、1つの映像だけをプロジェクターで投写したいときは、ディスプレイを次のように配置します。



- ① 実際のモニター映像：PowerPointファイルの発表者ツール
- ② 追加したディスプレイの映像：PowerPointファイルのライドショー

関連項目

- 「マルチスクリーンディスプレイ機能を使って画面を投写する」 [p.40](#)

関連項目

- 「マルチスクリーンディスプレイ機能を使って画面を投写する」 [p.40](#)
- 「仮想ディスプレイドライバを有効にする (Windows)」 [p.41](#)
- 「マルチスクリーンディスプレイを配置する (Windows)」 [p.42](#)
- 「マルチスクリーンディスプレイを配置する (Mac OS X)」 [p.45](#)
- 「配置の設定をしたマルチスクリーンディスプレイに映像を投写する」 [p.47](#)

仮想ディスプレイドライバを有効にする(Windows)

マルチスクリーンディスプレイ機能を使用する前に、仮想ディスプレイのドライバを有効にします。



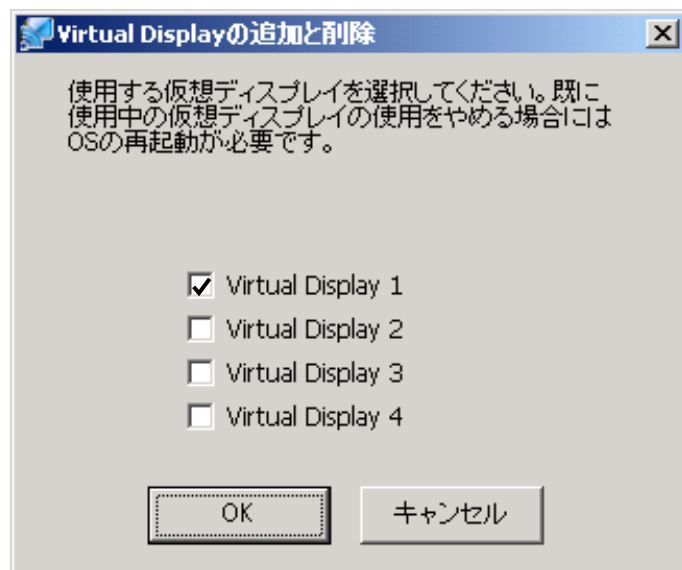
EasyMP Network Projectionインストール時に仮想ディスプレイを有効にした場合は、この操作は不要です。

- 1 [スタート] - [プログラム](または[すべてのプログラム]) - [EPSON Projector] - [EasyMP Network Projection] - [VirtualDisplayの追加と削除]の順に選択します。

Virtual Displayの追加と削除の画面が表示されます。

マルチスクリーンディスプレイを設定する

マルチスクリーンディスプレイの設定をします。外付けのモニターを接続している場合は、仮想ディスプレイドライバを有効にする操作は不要です。



2 使用する仮想ディスプレイにチェックを付けます。仮想ディスプレイを複数設定するときは必要な数だけチェックを付けます。チェックを付ける番号はどれでもかまいません。

3 [OK]をクリックします。

仮想ディスプレイを使用するためのドライバーが有効になります。途中で画面がちらつきますが異常ではありません。Virtual Displayの追加と削除の画面が閉じるまでしばらくお待ちください。



仮想ディスプレイのドライバーが有効になると、マウスカーソルを画面の表示領域外に移動できるため、マウスカーソルを見失うことがあります。仮想ディスプレイを使用しないときは、Virtual Displayの追加と削除の画面で仮想ディスプレイのチェックを外すと、マウスカーソルが画面の表示領域内に戻ります。マルチスクリーンディスプレイを使用する際は、再びVirtual Displayの追加と削除の画面でチェックを付けてください。

関連項目

- 「マルチスクリーンディスプレイを設定する」 p.41

マルチスクリーンディスプレイを配置する(Windows)

マルチスクリーンディスプレイの配置を設定します。仮想ディスプレイを使用するときは、マルチスクリーンディスプレイを配置する前に、仮想ディスプレイを有効にします。

1 外付けのモニターを使用するときは、モニターをコンピューターに接続します。

2 無線LANで接続するときは次の点を確認して、必要に応じて正しい設定にしてください。正しく設定されていないとマルチスクリーンディスプレイ機能を使えません。

- コンピューターと各プロジェクターのSSIDが一致している(かんたんモードの場合)
- コンピューターと各プロジェクターの無線LAN方式が一致している

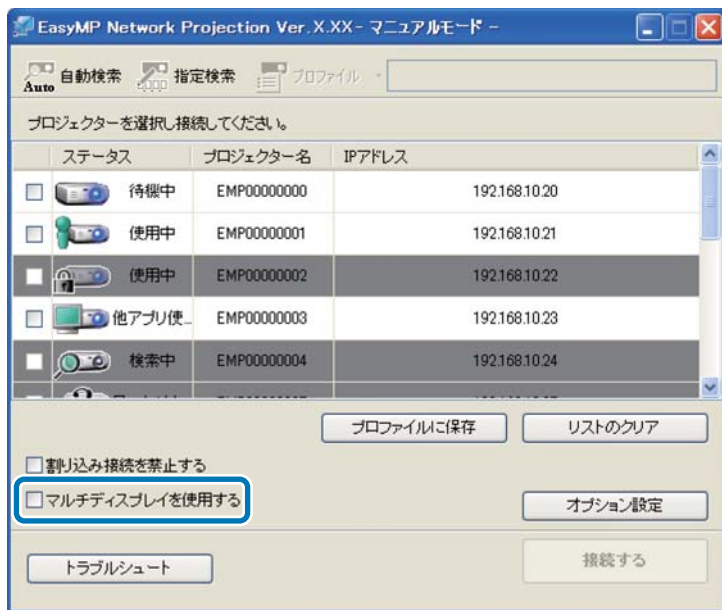
3 [スタート] - [プログラム](または[すべてのプログラム]) - [EPSON Projector] - [EasyMP Network Projection] - [EasyMP Network Projection VX.XX]の順に選択し、EasyMP Network Projectionを起動します。

4 [かんたんモード]または[マニュアルモード]を選択して、[OK]をクリックします。

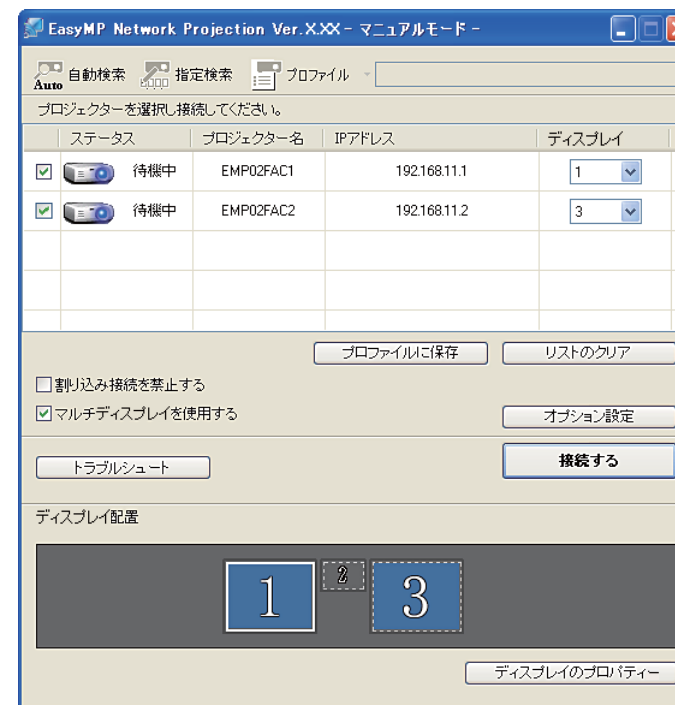


複数のプロジェクターに異なる映像を投写するときは、[マニュアルモード]を選択してください。

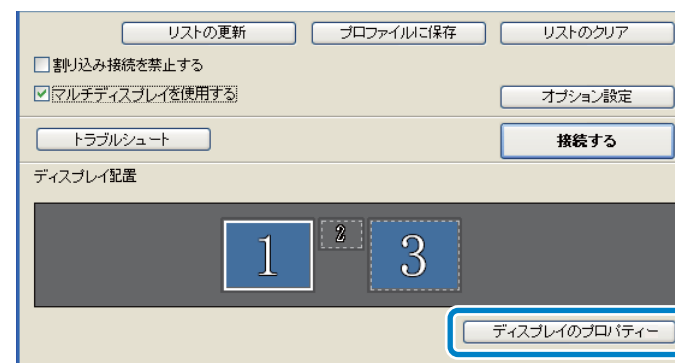
5 [マルチディスプレイを使用する]にチェックマークを付けます。



画面の下側に[ディスプレイ配置]と[ディスプレイのプロパティー]が追加表示されます。

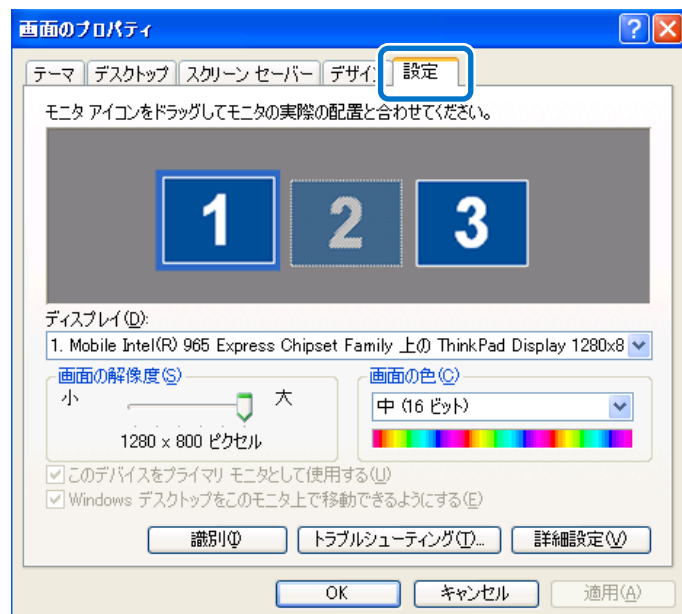


6 [ディスプレイのプロパティー]をクリックします。



画面のプロパティー画面が表示されます。

7 [設定]タブをクリックします。

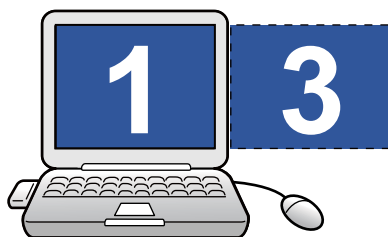


8 表示されているモニターアイコンをドラッグしてどのように配置するかを決めます。ここでは、実際のモニター(1)を左側に、追加したディスプレイ(3)を右側に配置します。



- コンピューターにディスプレイ出力端子が複数あるときは、仮想ディスプレイの番号はそれに続く番号が割り当てられます。
- セカンダリーモニターとして外付けのモニターを接続しているときには、その画面の映像は投写できません。
- ハードウェアによってはセカンダリーモニターが(2)にならないことがあります。モニターアイコンを配置するときは、そのアイコンをクリックし、ディスプレイのモニター種別がセカンダリーモニターになっていないことを確認してください。

モニターアイコンを配置すると次のようなイメージでディスプレイが接続されます。



9 [OK]をクリックして画面のプロパティ画面を閉じます。

関連項目


- 「マルチスクリーンディスプレイを設定する」 [p.41](#)

マルチスクリーンディスプレイを配置する(Mac OS X)

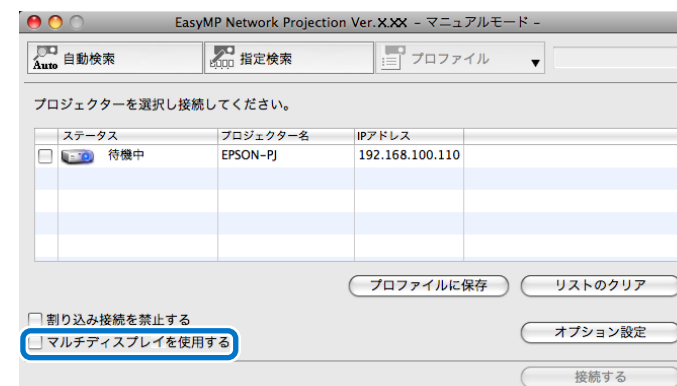
マルチスクリーンディスプレイの配置を設定します。

- 1** コンピューターに外付けのモニターを接続します。
- 2** 無線LANで接続するときは次の点を確認して、必要に応じて正しい設定にしてください。正しく設定されていないとマルチスクリーンディスプレイ機能を使えません。
 - コンピューターと各プロジェクターのSSIDが一致している(かんたんモードの場合)
 - コンピューターと各プロジェクターの無線LAN方式が一致している
- 3** [アプリケーション]フォルダーから[EasyMP Network Projection]をダブルクリックして、EasyMP Network Projectionを起動します。

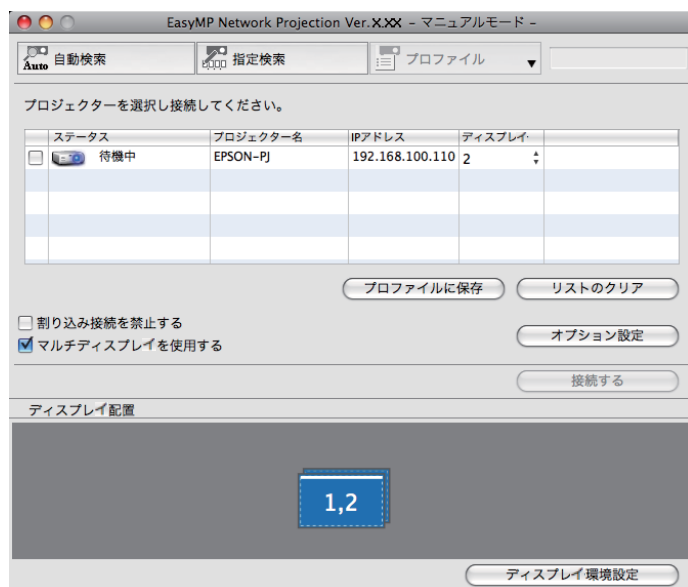
4 [かんたんモード]または[マニュアルモード]を選択して、[OK]をクリックします。

 複数のプロジェクターに異なる映像を投写するときは、マニュアルモードを選択してください。

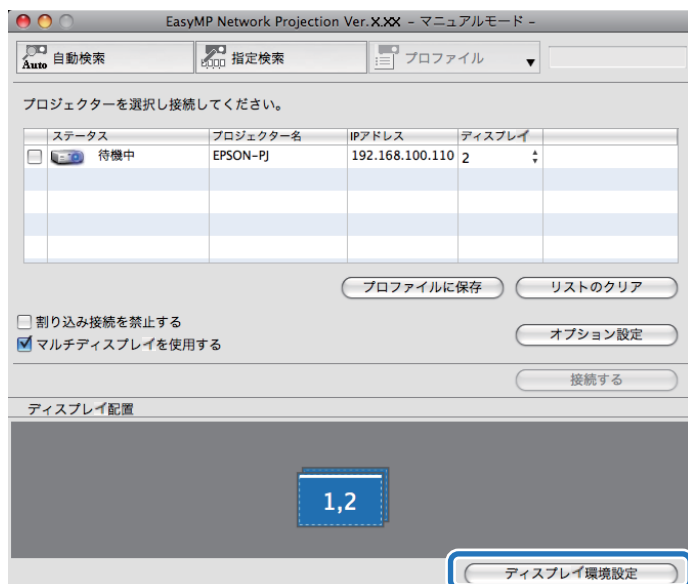
5 [マルチディスプレイを使用する]にチェックマークを付けます。



画面の下側に[ディスプレイ配置]と[ディスプレイ環境設定]が追加表示されます。



6 [ディスプレイ環境設定]をクリックします。



ディスプレイの設定画面が表示されます。

7 [調整]をクリックします。



8 [ディスプレイをミラーリング]のチェックを外します。



- 9** 表示されているモニターアイコンをドラッグして、画面の配置を決めます。



- 10** ディスプレイの設定画面を閉じます。

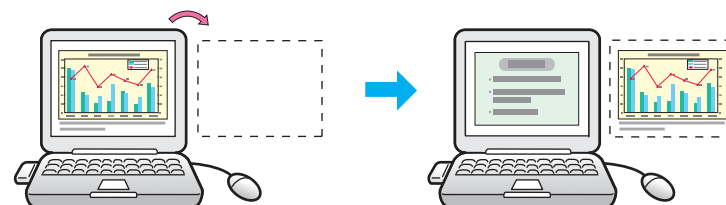
関連項目

- 「マルチスクリーンディスプレイを設定する」 p.41

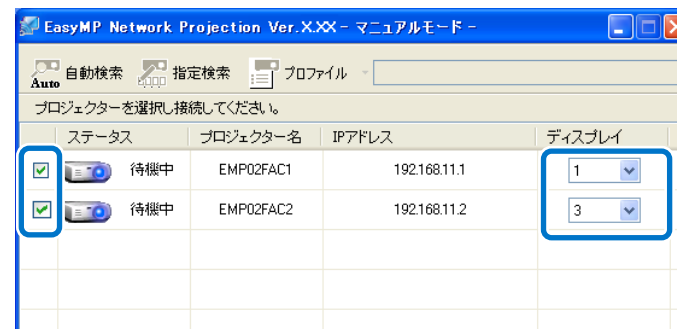
配置の設定をしたマルチスクリーンディスプレイに映像を投写する

マルチスクリーンディスプレイを設定した後は、各画面に投写する映像を割り当てます。

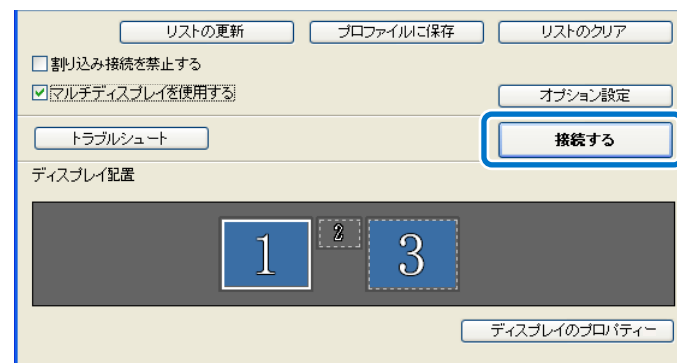
- 1** 投写するファイルを起動します。
- 2** 投写したいディスプレイへファイルをドラッグして、どのファイルをどこに投写するかを割り当てます。



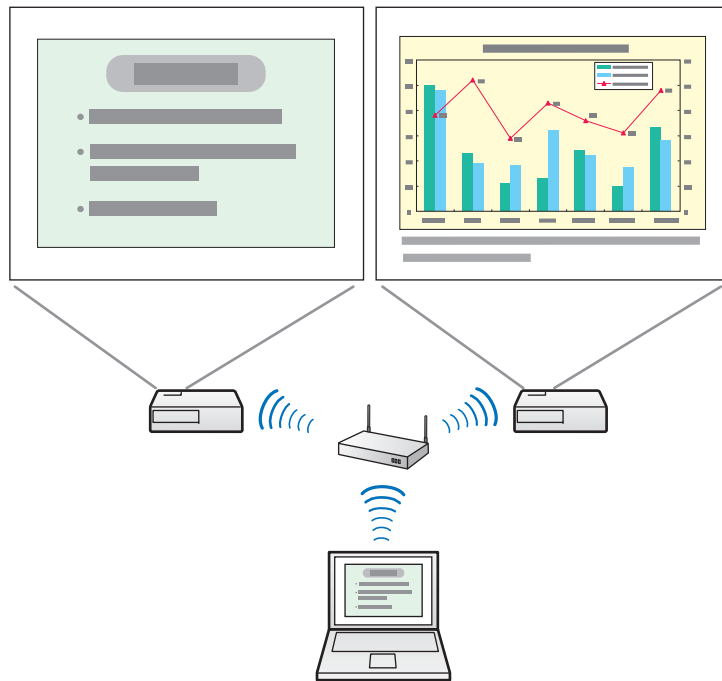
- 3** [ディスプレイ]から割り当てるディスプレイの番号を選択して、どのプロジェクターでどのディスプレイの映像を投写するのかを設定します。



- 4** [接続する]をクリックします。



各プロジェクターに割り当てた映像が投写されます。



Windows環境で仮想ディスプレイをお使いのときは、仮想ディスプレイに配置した画面を、コンピューター上では見ることができません。仮想ディスプレイの画面操作は投写されている映像を見ながら行ってください。仮想ディスプレイでのマウス操作は、仮想ディスプレイを配置している方向へマウスカーソルを移動し、投写画面にマウスカーソルが現れることで行えるようになります。

- 5** マルチスクリーンディスプレイへの投写を終了するには、ツールバーの[切断する]をクリックします。

関連項目

- 「マルチスクリーンディスプレイを設定する」 [p.41](#)

1台のコンピューターの画面を、最大4台のプロジェクターに同時に投写します。

[かんたんモード]で接続するときは、接続するプロジェクターのSSIDを同一に設定してください。

1 コンピューターでEasyMP Network Projectionを起動します。

- Windows XP/Windows Vista/Windows 7の場合：[スタート] - [プログラム] (または[すべてのプログラム]) - [EPSON Projector] - [EasyMP Network Projection] - [EasyMP Network Projection Ver.X.XX]の順に選択します。
- Windows 8の場合: チャームバーを表示して、[検索] - [EasyMP Network Projection Ver.X.XX]の順に選択します。
- Mac OS Xの場合：[アプリケーション]フォルダーから[EasyMP Network Projection]をダブルクリックします。

2 [かんたんモード]または[マニュアルモード]を選択して、[OK]をクリックします。

3 接続するプロジェクターにチェックを付け、[接続する]をクリックします。



同一の映像が複数のプロジェクターに投写されます。

関連項目

- 「便利な機能を活用する」 p.34



困ったときに

想定されるトラブルと、その対処法について説明します。

関連項目

- 「ネットワーク接続に関するトラブル」 [p.51](#)
- 「投写中のトラブル」 [p.56](#)
- 「エラーメッセージ一覧」 [p.58](#)
- 「Event ID一覧」 [p.61](#)

お使いのネットワーク環境に応じた対処方法を確認してください。

関連項目

- 「困ったときに」 [p.50](#)
- 「かんたんモードで接続できない」 [p.51](#)
- 「マニュアルモードで接続できない（無線LAN）」 [p.52](#)
- 「マニュアルモードで接続できない（有線LAN）」 [p.54](#)

かんたんモードで接続できない

かんたんモードでコンピューターとプロジェクターを接続できないときは、次の対処方法を確認してください。

- ネットワーク機器の状態、またはプロジェクターの設置環境を確認する
 - 無線LANユニットが正しく装着されているか確認します。お使いのプロジェクターによって、対応する無線LANユニットは異なります。
 - コンピューターとプロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更してください。電波状況によってはプロジェクターが検索されずに見つからないことがあります。
 - ネットワーク機器の電波強度を最大にしてください。
- プロジェクターのネットワーク設定を確認する
 - [接続モード]を[かんたんモード]に設定します。
[ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [接続モード]の順に進んで、設定します。
 - アクセスポイントのSSIDと異なるSSIDを設定します。
[ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [SSID]の順に進んで、設定します。
 - [DHCP]の設定を[オフ]にします。
[ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [DHCP]、または[ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [IP設定] - [DHCP]の順に進んで、設定します。
 - [無線LAN電源]の設定を[オン]にします。
[ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [無線LAN電源]の順に進んで、設定します。
 - セキュリティの設定をしているときは、コンピューターとプロジェクターに同じパスワードを設定します。
 - プロジェクター側でのネットワーク設定を終了して、LAN待機画面に戻します。
- コンピューターのネットワーク設定を確認する
 - コンピューターに無線LANアダプターが内蔵されていないときは、無線LANカードを装着します。
 - 無線LANの設定、またはMac OSのAirMacの設定を有効にします。

- EasyMP Network Projection の設定を確認する
 - 別のコンピューターからの映像が投写された状態(別のコンピューターとプロジェクターが接続中)でも、通常の接続操作をすれば、現在の接続が切断され、プロジェクターと接続できます。プロジェクターに設定されているプロジェクターキーワードがわからないときは、プロジェクターを再起動します。LAN待機画面に表示されるキーワードを確認して、再接続します。
 - 接続モードを選択できない、切り替えられないときは、オプション設定画面の[一般設定]タブで、[起動時に接続モード選択画面を表示する]にチェックを付けます。EasyMP Network Projection を再起動したときに、接続モードを選択する画面が表示されません。
- ネットワーク機器の状態、またはプロジェクターの設置環境を確認する
 - 無線LANユニットが正しく装着されているか確認します。お使いのプロジェクターによって、対応する無線LANユニットは異なります。
 - アクセスポイントとコンピューターやプロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更してください。電波状況によってはプロジェクターが検索されずに見つからないことがあります。
 - ネットワーク機器の電波強度を最大にしてください。
 - アクセスポイントのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを正しい値に設定します。
 - お使いの無線LANが802.11a、802.11b、802.11g、または802.11nに準拠しているか確認します。802.11a、802.11b、802.11g、または802.11n以外の規格(802.11など)には対応していません。

関連項目

- 「ネットワーク接続に関するトラブル」 [p.51](#)
- 「オプション設定 - 一般設定」 [p.70](#)
- 「接続するコンピューターを切り替える」 [p.35](#)

マニュアルモードで接続できない(無線LAN)

マニュアルモード(無線LAN)でコンピューターとプロジェクターを接続できないときは、次の対処方法を確認してください。問題が解決しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- プロジェクターのネットワーク設定を確認する
 - [接続モード]を[マニュアルモード]に設定します。
[ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [接続モード]の順に進んで、設定します。
 - プロジェクターとコンピューター、アクセスポイントに同一のSSIDを設定します。
[ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [SSID]の順に進んで、設定します。
 - [DHCP]の設定を[オフ]にします。[DHCP]を[オン]に設定しているときに、接続可能なDHCPサーバーが見つからないと、LAN待機画面が表示されるまで時間がかかります。
[ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [DHCP]、または[ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [IP設定] - [DHCP]の順に進んで、設定します。
 - プロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを正しい値に設定します。
 - [無線LAN電源]の設定を[オン]にします。
[ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [無線LAN電源]の順に進んで、設定します。
 - 無線LAN方式をアクセスポイントが対応している規格に設定します。
[ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [無線LAN方式]の順に進んで、設定します。
 - セキュリティーの設定をしているときは、プロジェクターとコンピューター、アクセスポイントに同一のパスワードを設定します。
 - プロジェクターのネットワーク設定を終了して、LAN待機画面に戻します。
- コンピューターのネットワーク設定を確認する
 - コンピューターに無線LANアダプターが内蔵されていないときは、無線LANカードを装着します。
 - 無線LANの設定、またはコンピューターのAirPortの設定を有効にします。
 - プロジェクターが接続しているアクセスポイントに接続します。
 - ファイアウォールを解除します。または、ファイアウォールを例外に登録します。ファイアウォールを解除または例外に登録したくないときは、ポートを開ける設定をしてください。使用するポートは3620、3621、3629です。
- アクセスポイントの設定を確認する
 - MACアドレス制限、ポート制限などの接続拒否機能を、プロジェクターが接続できる設定にします。

- EasyMP Network Projectionの設定を確認する
 - オプション設定画面の[LAN切替]で、使用するネットワークアダプターを選択します。お使いのコンピューターが複数のLAN環境を持っているときは、使用するネットワークアダプターを正しく選択していないと接続できません。
 - 接続するプロジェクターが自動で検索されないときは、[指定検索]でIPアドレスを指定して検索します。
 - 別のコンピューターからの映像が投写された状態(別のコンピューターとプロジェクターが接続中)でも、通常の接続操作をすれば、現在の接続が切断され、プロジェクターと接続できます。プロジェクターに設定されているプロジェクターキーワードがわからないときは、プロジェクターを再起動します。LAN待機画面に表示されるキーワードを確認して、再接続します。
 - 接続モードを選択できない、切り替えられないときは、オプション設定画面の[一般設定]タブで、[起動時に接続モード選択画面を表示する]にチェックを付けます。EasyMP Network Projectionを再起動したときに、接続モードを選択する画面が表示されません。

関連項目

- 「ネットワーク接続に関するトラブル」 [p.51](#)
- 「オプション設定 - 一般設定」 [p.70](#)
- 「SSID、IPアドレス、またはプロジェクター名を指定して検索する」 [p.25](#)
- 「接続するコンピューターを切り替える」 [p.35](#)

マニュアルモードで接続できない(有線LAN)

マニュアルモード(有線LAN)でコンピューターとプロジェクターを接続できないときは、次の対処方法を確認してください。問題が解決しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- ネットワーク機器の状態、またはプロジェクターの設置環境を確認する
 - LANケーブルを正しく接続します。



- 市販の100BASE-TX、または10BASE-TのLANケーブルを使用します。
- カテゴリ5、またはそれ以上のシールドLANケーブルを使用してください。

- プロジェクターのネットワーク設定を確認する
 - [DHCP]の設定を[オフ]にします。[DHCP]を[オン]に設定しているときに、接続可能なDHCPサーバーが見つからないと、LAN待機画面が表示されるまで時間がかかります。
[ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [有線LAN] - [DHCP]、または[ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [有線LAN] - [IP設定] - [DHCP]の順に進んで、設定します。
 - プロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを正しい値に設定します。
 - プロジェクターのネットワーク設定を終了して、LAN待機画面に戻します。

- コンピューターのネットワーク設定を確認する
 - コンピューターのLANの設定を有効にします。
Windows XPの場合：[コントロールパネル] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]で確認できます。
Windows Vista/Windows 7/Windows 8の場合：[コントロールパネル] - [システムとメンテナンス]または[システムとセキュリティ] - [デバイスマネージャ]で確認できます。
 - ファイアウォールを解除します。または、ファイアウォールを例外に登録します。ファイアウォールを解除または例外に登録したくないときは、ポートを開ける設定をしてください。使用するポートは3620、3621、3629です。
- EasyMP Network Projectionの設定を確認する
 - オプション設定画面の[LAN切替]で、使用するネットワークアダプターを選択します。お使いのコンピューターが複数のLAN環境を持っているときは、使用するネットワークアダプターを正しく選択していないと接続できません。
 - 接続するプロジェクターが自動で検索されないときは、[指定検索]でIPアドレスを指定して検索します。
 - 別のコンピューターからの映像が投写された状態(別のコンピューターとプロジェクターが接続中)でも、通常の接続操作をすれば、現在の接続が切断され、プロジェクターと接続できます。プロジェクターに設定されているプロジェクターキーワードがわからないときは、プロジェクターを再起動します。LAN待機画面に表示されるキーワードを確認して、再接続します。
 - 接続モードを選択できない、切り替えられないときは、オプション設定画面の[一般設定]タブで、[起動時に接続モード選択画面を表示する]にチェックを付けます。EasyMP Network Projectionを再起動したときに、接続モードを選択する画面が表示されず。

関連項目

- 「ネットワーク接続に関するトラブル」 [p.51](#)
- 「オプション設定 - 一般設定」 [p.70](#)
- 「SSID、IPアドレス、またはプロジェクター名を指定して検索する」 [p.25](#)
- 「接続するコンピューターを切り替える」 [p.35](#)

トラブルの状況に応じた解決策を確認してください。

関連項目

- 「困ったときに」 [p.50](#)
- 「コンピューターの画面が正しく表示されない」 [p.56](#)
- 「画面が正しく投写されない」 [p.56](#)
- 「プロジェクターから音が出ない、またはノイズが混ざる」 [p.57](#)

コンピューターの画面が正しく表示されない

コンピューターの画面にトラブルがあるときは、次の対処方法を確認してください。

- マウスカーソルがコンピューターの画面上に表示されないときは、仮想ディスプレイ上にマウスカーソルが移動しています。Virtual Displayの追加と削除の画面で仮想ディスプレイのチェックを外します。マウスカーソルが画面の表示領域内に戻ります。
- アプリケーションを起動しても、そのアプリケーションの画面が表示されないときは、仮想ディスプレイ上で動作していることがあります。Virtual Displayの追加と削除の画面で仮想ディスプレイのチェックを外します。
- PowerPointを使用中に、EasyMP Network Projectionを起動すると、スライドショーが動作しなくなることがあります。EasyMP Network Projectionを起動後、PowerPointを起動してスライドショーを実行してください。
- マルチスクリーンディスプレイ機能実行時に、PowerPointのスライドショーの表示がされないときは、PowerPoint2003以降をお使いください。または、仮想ディスプレイを1つにしてスライドショー表示をしてください。

関連項目

- 「投写中のトラブル」 [p.56](#)
- 「仮想ディスプレイドライバーを有効にする (Windows)」 [p.41](#)

画面が正しく投写されない

画面が投写されない、または投写画面にトラブルがあるときは、次の対処方法を確認してください。

- 動画転送機能を使用するときは、マニュアルモード、またはかんたんモードで無線LAN方式を802.11aに設定してください。電波の環境によっては動画の映像や音が止まることがあります。
- Microsoft Officeのアプリケーションを使用していて投写画面がスムーズに更新されないときは、マウスカーソルを動かさないようにしてください。マウスを絶えず動かし続けていると、画面がなかなか更新されないことがあります。
- マウスカーソルがちらつくときは、次の対処方法を確認してください。
 - オプション設定画面の[一般設定]タブで、[デスクトップ画面のマウスカーソルをきれいにする]にチェックを付けます。
 - オプション設定画面の[パフォーマンス調整]タブで、[レイヤードウィンドウの転送]のチェックを外します。
- コンピューターによっては、Media Playerの動画再生画面が表示されないことがあります。
- コンピューターによっては、スクリーンセーバーのプレビューが正常に表示されないことがあります。
- 複数台のプロジェクターに接続しているときは、表示速度が低下します。
- WEP暗号化を有効にしているときは、表示速度が低下します。

関連項目

- 「投写中のトラブル」 [p.56](#)
- 「オプション設定 - 一般設定」 [p.70](#)
- 「オプション設定 - パフォーマンス調整」 [p.71](#)

プロジェクターから音が出ない、またはノイズが混ざる

プロジェクターから出力される音声にトラブルがあるときは、次の対処方法を確認してください。

- 音声を転送できるプロジェクターは1台のみです。複数台のプロジェクターに接続しているときは、他のプロジェクターとの接続を切断してください。
- オプション設定画面の[音声出力]タブで、[音声をプロジェクターで出力する]にチェックを付けます。
- コンピューターの音量を最小、プロジェクターの音量を最大に設定していると、ノイズが混ざることがあります。コンピューターの音量は大きく、プロジェクターの音量は小さく設定してください。

関連項目

- 「投写中のトラブル」 [p.56](#)
- 「オプション設定 - 音声出力」 [p.72](#)

エラーが発生すると、コンピューターの画面にメッセージが表示されます。対処方法を確認して、エラーを解除します。

関連項目

- 「困ったときに」 [p.50](#)
- 「EasyMP Network Projection起動時のエラーメッセージ」 [p.58](#)
- 「プロジェクターの検索、選択時のエラーメッセージ」 [p.59](#)
- 「投写時のエラーメッセージ」 [p.59](#)

EasyMP Network Projection起動時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処法
USB Displayが起動しているため、本アプリケーションは起動できません。	<p>USBディスプレイを終了してからEasyMP Network Projectionを起動してください。</p> <p>次のいずれかの方法で、USBディスプレイを終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windowsの場合：プロジェクターからUSBケーブルを取り外します。 • Mac OS Xの場合：メニューバーまたはDockの[USB Display]アイコンから[切断]を選択します。その後にUSBケーブルを取り外します。
クイックワイヤレスが起動しているため、本アプリケーションは起動できません。	<p>クイックワイヤレスを終了してからEasyMP Network Projectionを起動してください。</p> <p>クイックワイヤレスを終了するには、タスクバーに表示されているアイコンから[ハードウェアの安全な取り外し]を選択し、USB キーを取り外します。</p>
EasyMP Network Projectionの初期化に失敗しました。	<p>EasyMP Network Projectionを再起動してください。</p> <p>それでもメッセージが出るときは、EasyMP Network Projectionをいったんアンインストールして、その後もう一度EasyMP Network Projectionをインストールしてください。</p>

エラーメッセージ	対処法
ネットワークアダプターの情報取得に失敗しました。	<p>次の点を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンピューターにネットワークアダプターが装着されている • コンピューターに、使用するネットワークアダプターのドライバーがインストールされている • ネットワークアダプターが有効になっている <p>確認後、コンピューターを再起動して、もう一度接続の操作を行います。</p> <p>それでも接続できない場合は、コンピューター側のネットワーク設定とプロジェクター側のネットワーク設定を確認してください。</p>
ご使用のOSバージョンでは使用できません。 EasyMP Network Projectionをインストールしなおしてください。	<p>EasyMP Network Projectionを再インストールします。</p>

関連項目

- 「エラーメッセージ一覧」 [p.58](#)
- 「EasyMP Network Projectionをアンインストールする（Windows XP/Windows Vista/Windows 7）」 [p.80](#)
- 「EasyMP Network Projectionをアンインストールする（Mac OS X）」 [p.81](#)
- 「EasyMP Network Projectionをインストールする（Windows）」 [p.11](#)
- 「EasyMP Network Projectionをインストールする（Mac OS X）」 [p.11](#)

プロジェクターの検索、選択時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処法
ご使用のEasyMP Network Projectionのバージョンではプロジェクターに接続できません。最新のEasyMP Network Projectionをインストールしてください。	プロジェクターに同梱のEPSON Projector Software CD-ROMから、EasyMP Network Projectionをインストールします。 EasyMP Network Projectionの最新バージョンは、EPSONのWebサイトからダウンロードできます。
プロジェクターとの接続に失敗しました。	再度、接続の操作をします。それでも接続できないときは、コンピューター側のネットワーク設定とプロジェクター側のネットワーク設定を確認してください。
キーワードが一致しません。プロジェクターに表示された、正しいキーワードを入力してください。	LAN待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを確認し、そのプロジェクターキーワードを入力してください。
キーワードが間違っていたため接続できませんでした。	
プロジェクターの画面に表示されたキーワードを入力してください。	
選択されたプロジェクターは使用中です。接続処理を続行しますか？	[[はい]をクリックすると、プロジェクターと接続します。このとき、接続していた別のコンピューターとプロジェクターの接続は切断されます。 [[いいえ]をクリックすると、プロジェクターと接続しません。別のコンピューターとプロジェクターの接続は保持されます。
SXGAを超える解像度をサポートしていないプロジェクターがあります。コンピューターの解像度を下げ再接続してください。	接続先のプロジェクターの中に、SXGAを超える解像度をサポートしていないプロジェクターがあります。コンピューターの画面の解像度を、SXGA(1280 × 1024)以下に変更してください。

エラーメッセージ	対処法
応答しないプロジェクターが存在します。	コンピューター側のネットワーク設定とプロジェクター側のネットワーク設定を確認してください。
無線LANの電源がOFFになっています。無線LANの電源をONにして、再度検索を行ってください。	コンピューターの無線LANスイッチをオンにしてから、再度プロジェクターの検索をしてください。

関連項目

- 「エラーメッセージ一覧」 [p.58](#)
- 「対応解像度」 [p.82](#)
- 「EasyMP Network Projectionをアンインストールする (Windows XP/Windows Vista/Windows 7)」 [p.80](#)
- 「EasyMP Network Projectionをアンインストールする (Mac OS X)」 [p.81](#)
- 「ソフトウェアの最新バージョンを入手する」 [p.80](#)
- 「EasyMP Network Projectionをインストールする (Windows)」 [p.11](#)
- 「EasyMP Network Projectionをインストールする (Mac OS X)」 [p.11](#)

投写時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処法
XXXXXXとの接続が切断されました。	再度、接続の操作をします。それでも接続できない場合は、コンピューター側のネットワーク設定とプロジェクター側のネットワーク設定を確認してください。
プロジェクターから音声出力するには、PowerPoint、またはWindows Media Playerなどを再起動してください。	PowerPointまたはメディアプレーヤーを再起動します。プロジェクターから音声出力されます。

エラーメッセージ	対処法
音声出力を有効にするためには、再起動する必要があります。すぐ再起動するには「はい」を、後で再起動するには「いいえ」を選択してください。	音声をプロジェクターに転送して再生するときは、「はい」を選択してコンピューターを再起動してください。

関連項目

- 「エラーメッセージ一覧」 [p.58](#)

接続に関するトラブルが生じると、トラブルの内容を示す番号が次のように表示されます。

Event ID: 04xx

番号を確認して次のとおり対処してください。問題が解決しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせいただくか、プロジェクターの『取扱説明書』に記載の連絡先にお問い合わせください。

Event ID	要因	対処法
0432	ネットワークソフトウェアの起動に失敗しました。	プロジェクターを再起動してください。
0435		
0434	ネットワークの通信状態が不安定です。	ネットワークの通信状態を確認して、しばらくしてから再接続してください。
0481		
0482		
0433	転送された画像を再生できません。	ネットワークソフトウェアを再起動してください。
0484	コンピューターから通信が切断されました。	
04FE	ネットワークソフトウェアが予期せず終了しました。	ネットワークの通信状態を確認して、プロジェクターを再起動してください。
04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました	プロジェクターを再起動してください。
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。	プロジェクターとコンピューター、アクセスポイントに同一のSSIDを設定します。
0892	WPA/WPA2の認証方式が一致しません。	無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。
0893	WEP/TKIP/AESの暗号化方式が一致しません。	

Event ID	要因	対処法
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。	ネットワーク管理者に確認して指示に従ってください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。	DHCPサーバーが正しく動作しているか確認してください。また、LANケーブルが確実に接続されているか確認してください。DHCPを使用しないときは、[DHCP]の設定を[オフ]にしてください。
0899	その他、接続に関するエラー	プロジェクターまたはネットワークソフトウェアを再起動しても問題が解決しないときは、プロジェクターの『取扱説明書』に記載の連絡先にお問い合わせください。
089A	EAP認証方式が不一致です。	無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。
089B	EAPのサーバー認証が失敗しました。	
089C	EAPのクライアント認証が失敗しました	
089D	鍵交換が失敗しました。	
0B01	内蔵ストレージが正常に検出されませんでした。	[内部ストレージを全て削除]を実行してください。正常に終了した場合は、プロジェクターのコンセントを差し直して起動してください。正常に終了しない場合は、プロジェクターの『取扱説明書』に記載の連絡先にお問い合わせください。 [拡張設定] - [ホワイトボード設定画面へ] - [内部ストレージ]の順に進んで、設定します。
0BFF	ホワイトボード機能にエラーが発生しました。	プロジェクターを再起動してください。

関連項目

- 「困ったときに」 [p.50](#)



各画面の説明

EasyMP Network Projectionの各画面の項目を説明します。

関連項目

- 「接続モード選択画面」 [p.64](#)
- 「接続画面」 [p.65](#)
- 「プロファイル」 [p.68](#)
- 「オプション設定」 [p.70](#)
- 「ツールバー」 [p.74](#)
- 「動画再生モード」 [p.77](#)
- 「Virtual Displayの追加と削除」 [p.78](#)

EasyMP Network Projectionを起動すると、接続モード選択画面が表示されます。



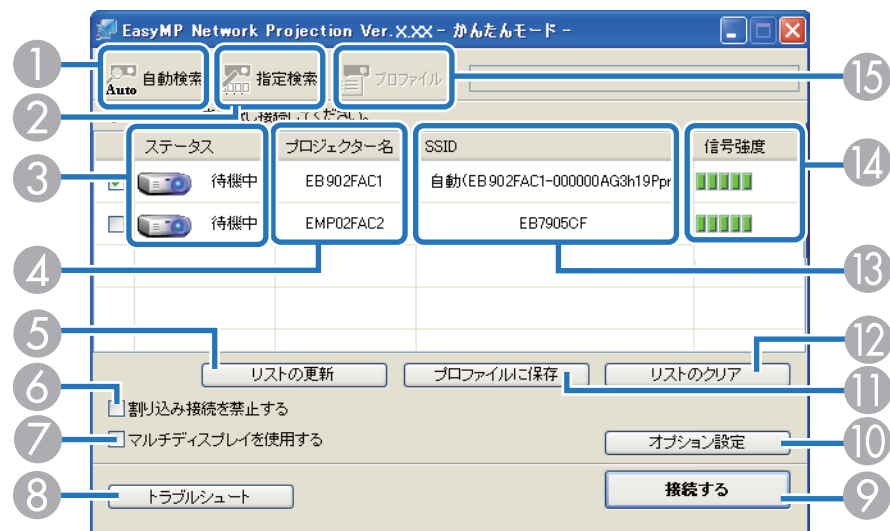
①	接続モードを選択します。
②	今回選択した接続モードで次回も接続したいときに、チェックを付けます。

関連項目

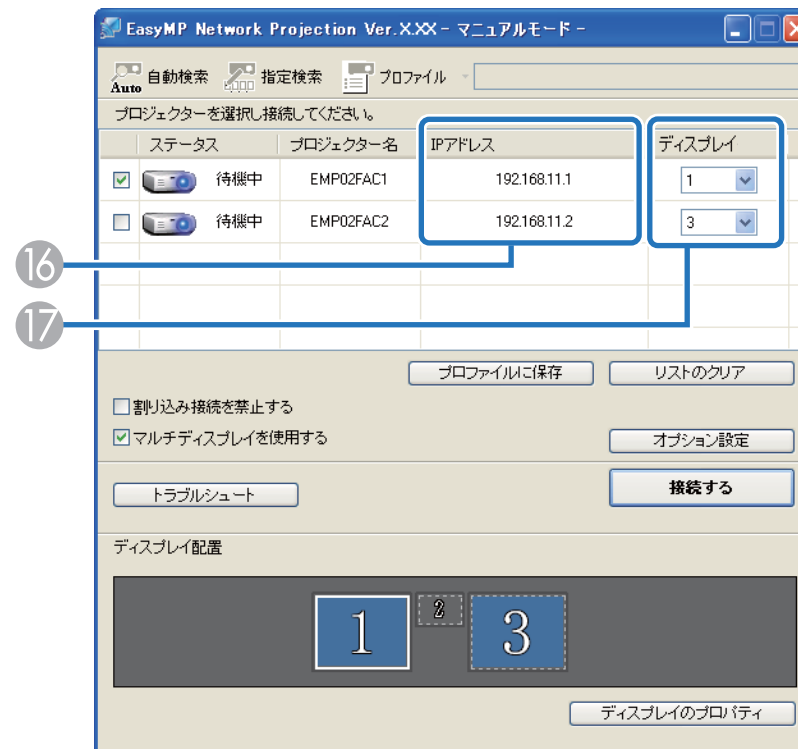
- 「各画面の説明」 p.63



EasyMP Network Projectionを起動して接続モードを選択すると、選択した接続モードによって次のいずれかの画面が表示されます。








● かんたんモードで起動したとき




● マニュアルモードで起動したとき



<p>①</p>  <p>自動検索</p>	<p>かんたんモードでは、SSIDによりプロジェクターを検索します。 マニュアルモードでは、コンピューターが接続しているネットワークシステムの中で接続可能なプロジェクターを検索します。</p>
<p>②</p>  <p>指定検索</p>	<p>かんたんモードでは、SSIDの一覧から選んでプロジェクターを検索します。 マニュアルモードでは、プロジェクターのIPアドレス、またはプロジェクター名を指定して検索します。</p>
<p>③</p> <p>ステータス</p>	<p>次のアイコンで、検索されたプロジェクターの状態をお知らせします。</p>

		選択できます。
	待機中	
		選択できます。[接続する]をクリックすると、現在接続中のコンピューターを切断してから接続します。
	使用中	
		選択できません。他のコンピューターで[割り込み接続を禁止する]を設定して接続中です。
	使用中(割り込み禁止)	
		プロジェクターが環境設定メニューを表示中です。環境設定メニューを終了してから検索し直すと選択できます。
	他アプリ使用中	
		指定検索やプロファイルの検索中に表示されます。
	検索中	
		指定検索やプロファイルを実行した結果、見つからなかったときに表示します。
	見つかりません。	
		選択できます。かんたんモード時に、セキュリティー設定されているプロジェクターが見つかったときに表示されます。
	未取得	
④	プロジェクター名	プロジェクターの名前が表示されます。
⑤	リストの更新(かんたんモードのみ)	ステータスや信号強度を最新の状態に更新します。
⑥	割り込み接続を禁止する	選択したプロジェクターと接続中に、他のコンピューターからの接続を禁止するときにチェックを付けます。

⑦	マルチディスプレイを使用する	マルチスクリーンディスプレイ機能を使用するとき、チェックマークを付けます。チェックマークを付けると画面の下側に、ディスプレイ配置とディスプレイのプロパティ(ディスプレイ環境設定)が表示されます。
⑧	トラブルシュート	EasyMP Network Projectionトラブルシュート画面が表示されます。
⑨	接続する	検索結果の一覧で選択したプロジェクターと接続します。プロジェクターと接続すると、ツールバーが表示されます。
⑩	オプション設定	オプション設定画面が表示されます。EasyMP Network Projection起動時の処理方法などを設定できます。
⑪	プロファイルに保存	ネットワーク上のプロジェクターを検索した結果を、プロファイルとして保存します。
⑫	リストのクリア	検索結果の一覧をすべて消去します。
⑬	SSID(かんたんモードのみ)	プロジェクターのSSIDが表示されます。
⑭	信号強度(かんたんモードのみ)	信号強度を表示します。信号強度が強いほど、点灯しているインジケータの数が多くなります。
⑮	 プロファイル	[プロファイルに保存]を実行して保存したプロファイルを使ってネットワーク上のプロジェクターを検索します。
⑯	IPアドレス(マニュアルモードのみ)	プロジェクターのIPアドレスが表示されます。
⑰	ディスプレイ	([マルチディスプレイを使用する]にチェックしたとき)ディスプレイ番号を選択します。

関連項目

- 「各画面の説明」 p.63
- 「自動で検索する」 p.24

- 「SSID、IPアドレス、またはプロジェクター名を指定して検索する」
[p.25](#)
- 「プロファイルを作成する」 [p.27](#)
- 「プロファイルを指定して検索する」 [p.26](#)
- 「マルチスクリーンディスプレイ機能を使って画面を投写する」 [p.40](#)
- 「オプション設定」 [p.70](#)

プロフィールの保存と編集の各画面の項目を説明します。

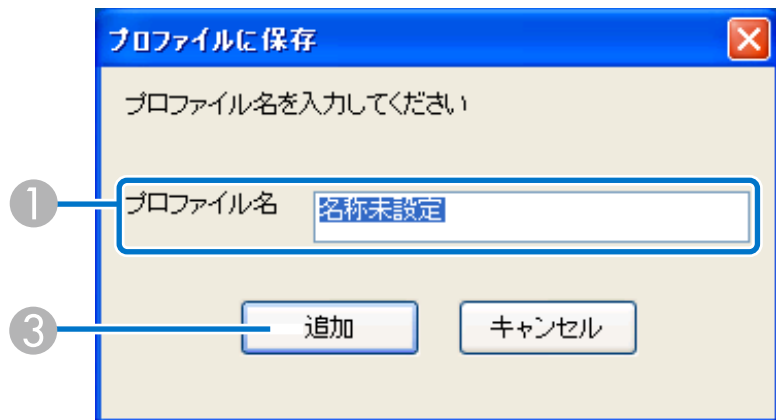
関連項目

- 「各画面の説明」 [p.63](#)
- 「プロフィールに保存」 [p.68](#)
- 「プロフィール編集」 [p.68](#)

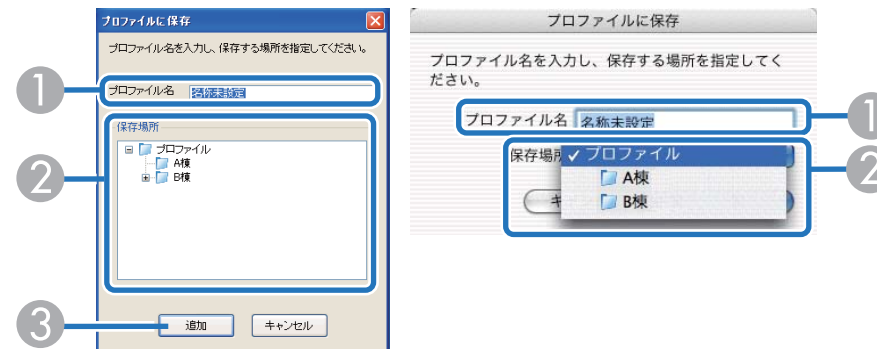
プロフィールに保存

プロジェクターを検索して、接続画面で[プロフィールに保存]をクリックすると、次のいずれかの画面が表示されます。

- プロフィールにフォルダーが作成されていないとき



- プロフィールにフォルダーを作成しているとき



①	プロフィール名	プロフィール名を入力します。
②	保存場所	プロフィールの保存場所を選択します。
③	追加	プロジェクター情報をプロフィールに登録します。

関連項目

- 「プロフィール」 [p.68](#)
- 「プロフィールを作成する」 [p.27](#)

プロフィール編集

オプション設定画面で[プロフィール編集]をクリックすると、プロフィール編集画面が表示されます。



8	プロジェクト名	プロフィールに登録されているプロジェクト情報が表示されます。
	SSIDまたはIPアドレス	
	削除	プロフィールから選択したプロジェクト情報を削除します。すべてのプロジェクト情報を削除すると、そのプロフィールも削除されます。


関連項目

- 「プロフィール」 p.68
- 「プロフィールを作成する」 p.27

1	プロフィール	登録されているプロフィールが表示されます。プロフィール、またはフォルダーをドラッグ&ドロップして、フォルダー構成を変更できます。
2	複製	プロフィールを複製します。複製したプロフィールは、複製元ファイルの名称と同じ名称で複製元のファイルと同じフォルダーに保存されます。
3	削除	プロフィール、またはフォルダーを削除します。
4	名称変更	名称変更ダイアログが表示され、フォルダー名、またはプロフィール名を変更できます。名称変更ダイアログで入力できる文字数は32文字までです。
5	エクスポート	プロフィールを出力します。出力したプロフィールは、バックアップとして保存したり、他のコンピュータにインポートして利用できます。
6	インポート	エクスポートで出力したプロフィールを読み込みます。
7	フォルダー作成	新しいフォルダーを作成します。

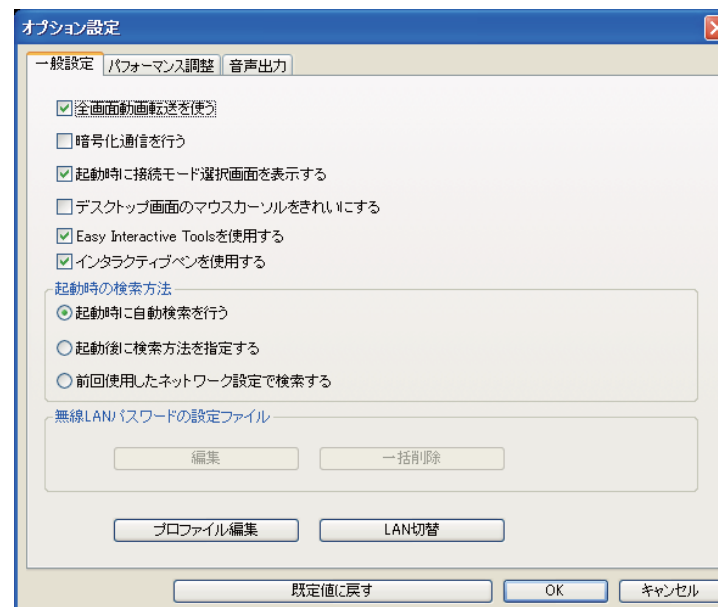
EasyMP Network Projectionの接続画面で[オプション設定]をクリックすると、オプション設定画面が表示されます。



ツールバーの  をクリックして、オプション設定画面を表示することもできます。ツールバーからオプション設定を呼び出すと、[一般設定]タブは表示されません。

関連項目

- 「各画面の説明」 p.63
- 「オプション設定 - 一般設定」 p.70
- 「オプション設定 - パフォーマンス調整」 p.71
- 「オプション設定 - 音声出力」 p.72



オプション設定 - 一般設定

オプション設定画面で[一般設定]タブをクリックすると、次の画面が表示されます。

全画面動画転送を使う	Windows XPのみ 動画ファイルを全画面表示するときに使います。 動画再生に対応していないプロジェクターでは、 この項目は設定できません。
暗号化通信を行う	チェックを付けるとデータを暗号化して送信します。 データを傍受されても、解読されません。 かんたんモードで使うときは必ず設定してください。
起動時に接続モード選択画面を表示する	EasyMP Network Projectionの起動時にかんたん モード/マニュアルモードの選択画面を表示する/ しないを設定します。 起動方式が決まっている場合はチェックを外して ください。

デスクトップ画面のマウスカーソルをきれいにする	Windows XP/Windows Vista/Windows 7のみ [パフォーマンス調整]の[レイヤードウィンドウの転送]にチェックを付けて投写するときに、マウスカーソルのちらつきを防ぎます。(Windows VistaとWindows 7でウィンドウデザインをWindows Aeroに指定しているとき、この項目を選択するとWindows Aeroが無効になります。)
Easy Interactive Toolsを使用する	Easy Interactive ToolsをEasyMP Network Projectionと同時に使用するときにはチェックを付けます。この設定は、[パフォーマンス調整]タブの[レイヤードウィンドウの転送]と同期します。
インタラクティブペンを使用する	チェックを付けると、ネットワーク経由でインタラクティブ機能を使用できます。USBケーブルでプロジェクターとコンピューターを接続する必要はありません。(対応機種のみ) 同時に使用できるEasy Interactive Penは1本です。
起動時の検索方法	EasyMP Network Projection起動時に実行するプロジェクターの検索方法を以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 起動時に自動検索を行う 起動後に検索方法を指定する 前回使用したネットワーク設定で検索する
無線LANパスワードの設定ファイル	Windows XPは設定不可 かんたんモードでセキュリティが設定されたプロジェクターを接続するとき、SSIDとパスワードをコンピューターに登録できます。ここでは登録した情報の編集と削除ができます。 編集：コンピューターのワイヤレスネットワーク管理画面が表示されます。 一括削除：登録したSSIDとパスワードを全て削除します。
プロファイル編集	プロファイル編集画面が表示されます。
LAN切替	Windowsのみ 複数のアダプターを使えるコンピュータで、検索に使うアダプターを切り替えるときに使います。初期設定ではすべてのネットワークアダプターを使用して検索します。

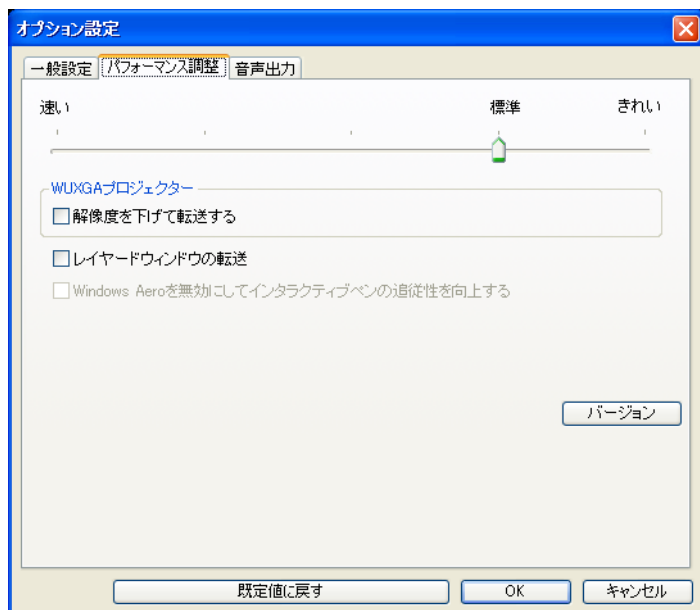
既定値に戻す	[一般設定]の[プロファイル編集]および[LAN切替]を除く、[オプション設定]のすべての設定を初期化します。
--------	---

関連項目

- 「オプション設定」 [p.70](#)
- 「接続モード選択画面」 [p.64](#)
- 「プロファイル編集」 [p.68](#)
- 「自動で検索する」 [p.24](#)
- 「SSID、IPアドレス、またはプロジェクター名を指定して検索する」 [p.25](#)

オプション設定 - パフォーマンス調整

オプション設定画面で[パフォーマンス調整]タブをクリックすると、次の画面が表示されます。



調整用スライダー	[速い]、[標準]、[きれい]でパフォーマンスを調整できます。 動画の投写映像が途切れるようなときは、[速い]側へ設定してください。
解像度を下げて転送する	解像度がWUXGA(1920×1200)のプロジェクターのみ チェックを付けると投写対象の画面の解像度を下げて、プロジェクターに転送するデータを小さくします。ネットワークが遅いときや投写映像の表示が遅れたり途切れたりするときに使用します。

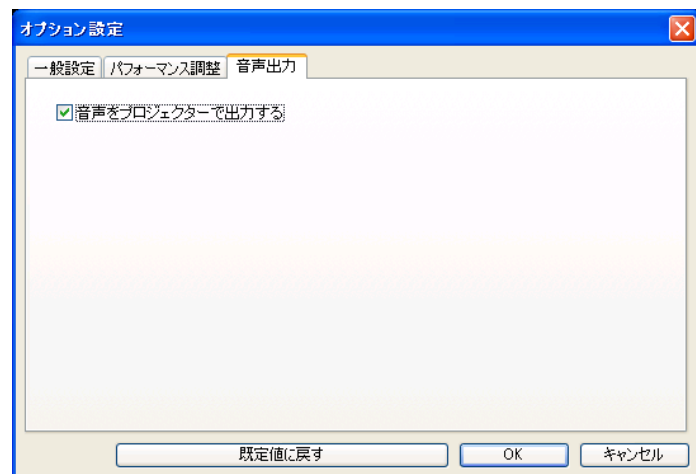
レイヤードウィンドウの転送	Windows XP、Windows 7 (ウィンドウデザインを [Windows 7 ベーシック] に設定時) のみ レイヤードウィンドウを使用すると、コンピューター画面に表示されているメッセージなどはプロジェクターで投写されません。異なるレイヤーのウィンドウの内容を投写するときに、チェックを付けてください。 コンピューターの画面上でマウスカーソルのちらつきが気になるときは、[一般設定] の [デスクトップ画面のマウスカーソルをきれいにする] にチェックを付けます。
Windows Aeroを無効にしてインタラクティブペンの追従性を向上する	Windows VistaとWindows 7でウィンドウデザインがWindows Aeroのとき インタラクティブ機能を使っていて、ペンの軌跡が遅れるときにチェックを付けます。チェックを付けるとWindows Aeroが無効になり、ペンの動作が滑らかになります
既定値に戻す	[一般設定] の [プロファイル編集] および [LAN切替] を除く、[オプション設定] のすべての設定を初期化します。


関連項目

- 「オプション設定」 [p.70](#)

オプション設定 - 音声出力

オプション設定画面で [音声出力] タブをクリックすると、次の画面が表示されます。









<p>音声をプロジェクターで出力する</p>	<p>コンピューターの音声を転送してプロジェクターで出力するときに、チェックを付けます。チェックを外すと、音声はコンピューターから出力されます。</p> <p>ただし、動画再生モードで音声付きの動画を再生するときは、この項目の設定に関わらず音声はプロジェクターから出力されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> 音声を転送できるのは1台のプロジェクターに対してのみです。複数台のプロジェクターに接続しているときは、音声を転送できません。</p> </div>
<p>既定値に戻す</p>	<p>[一般設定]の[プロファイル編集]および[LAN切替]を除く、[オプション設定]のすべての設定を初期化します。</p>







関連項目

- 「オプション設定」 p.70

EasyMP Network Projectionを起動してプロジェクターと接続すると、コンピュータの画面にツールバーが表示されます。このツールバーを使ってプロジェクターの操作や設定をしたり、プロジェクターとの接続を終了できます。



 操作対象プロジェクターの選択	操作対象プロジェクターの選択画面が表示されます。分配機能やマルチスクリーンディスプレイで複数台のプロジェクターと接続して投写中に、ツールバーから操作するプロジェクターを限定するときをクリックします。アイコン下の表示は、操作対象となっているプロジェクターを示しています。[ALL]は接続しているプロジェクターすべてが操作対象となっていることを示しています。1,3など数字が表示されているときは、接続しているプロジェクターのうちNo.1と3が操作対象となっていることを示しています。
 停止	プロジェクターと接続したまま投写を停止します。停止中は、黒画面が投写されます。
 表示	停止や一時停止を解除します。
 一時停止	プロジェクターと接続したまま、投写中の映像の動きを一時的に停止します。
 プレゼンテーションモード	クリックするたびにプレゼンテーションモードが有効/無効になります。
 プロジェクター制御	プロジェクター制御のツールバーが表示されます。映像と音声の一時的な消去/解除、入力ソースの切り替えができます。

 画面プレビュー	マルチスクリーンディスプレイのプレビュー画面を表示します。設定されているディスプレイの配置がプレビュー表示されます。各ディスプレイをクリックすると、画面プレビューウィンドウ全体に拡大表示されます。
 オプション設定	オプション設定画面が表示されます。コンピュータの映像を送信するときの送信パフォーマンスを調整できます。
 動画再生モード	動画再生モードになります。(対応機種のみ)
 切断する	プロジェクターとの接続を終了します。
 信号強度(かんたんモードのみ)	信号強度を表示します。信号強度が強いほど、点灯しているインジケータの数が多くなります。
 ツールバー表示切り替え	[Full]、[Normal]、[Simple]の3段階でツールバーの表示を切り替えます。ツールバーの表示状態は、次に切り替えるまで保存されます。

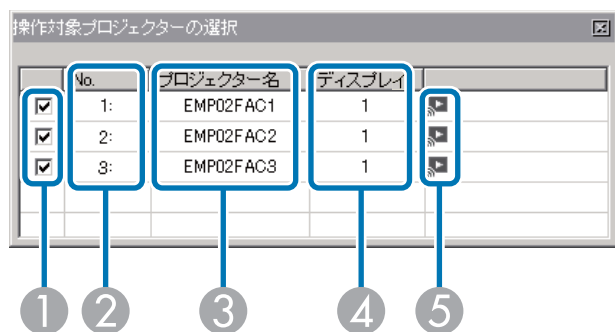
関連項目

- 「各画面の説明」 [p.63](#)
- 「操作対象プロジェクターの選択」 [p.75](#)
- 「プロジェクター制御」 [p.75](#)
- 「投写画面を一時的に消す・停止する」 [p.31](#)
- 「PowerPoint のスライドショーだけを投写する」 [p.36](#)

- 「投写を終了する」 [p.33](#)
- 「オプション設定」 [p.70](#)
- 「動画ファイルを投写する」 [p.37](#)

操作対象プロジェクターの選択

ツールバーで をクリックすると、次の画面が表示されます。



①	-	操作対象としたいプロジェクターを選択します。
②	No.	割り当てられたプロジェクターNo.が表示されます。このNo.がツールバーの操作対象プロジェクターNo.としてアイコンに表示されます。
③	プロジェクター名	プロジェクターの名前が表示されます。
④	ディスプレイ	EasyMP Network Projectionの接続画面で選択したディスプレイ番号が表示されます。
⑤	-	プロジェクターの状態をお知らせします。
		停止中
		投写中

	一時停止中
	プレゼンテーションモード中
	動画再生モード中

関連項目



- 「ツールバー」 [p.74](#)
- 「接続画面」 [p.65](#)
- 「投写画面を一時的に消す・停止する」 [p.31](#)
- 「PowerPoint のスライドショーだけを投写する」 [p.36](#)
- 「動画ファイルを投写する」 [p.37](#)

プロジェクター制御

ツールバーで をクリックすると、次のツールバーが表示されます。



	映像と音声を一時的に消去/解除します。
A/Vミュート	






	コンピューターまたはUSB機器に接続された入力端子からの映像に切り替えます。
PCソース切替	
	ビデオの入力端子からの映像に切り替えます。
Videoソース切替	


関連項目

- 「ツールバー」 [p.74](#)
- 「投写画面を一時的に消す・停止する」 [p.31](#)
- 「入力ソースを切り替える」 [p.31](#)

ツールバーで  をクリックしてプロジェクターを選択すると、次の画面が表示されます。



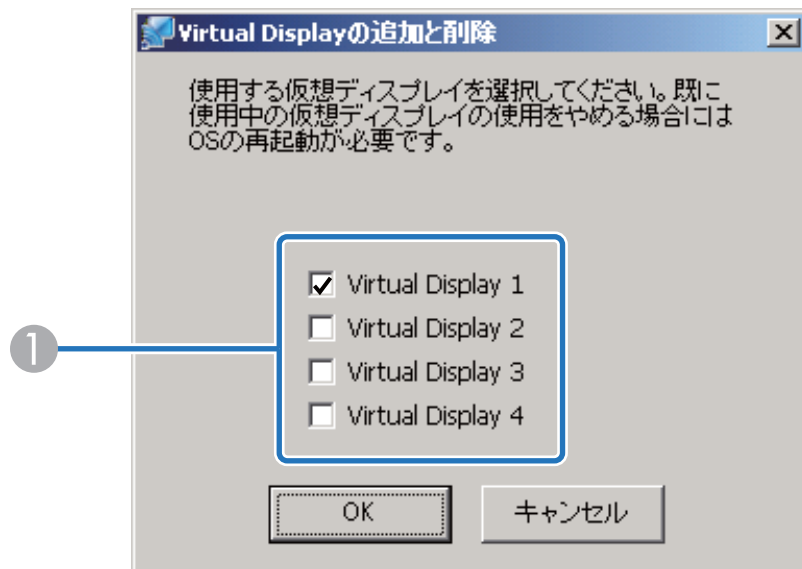
①	動画ファイルリスト	選択した動画ファイルの一覧が表示されます。
②	—	動画の再生位置を示します。ドラッグ&ドロップしたところからファイルの再生を開始します。
③		ファイルを再生します。
④		再生を一時停止します。
⑤		再生を停止します。
⑥		再生中のファイルの先頭から再生します。
⑦		次のファイルの先頭から再生します。

⑧		ファイルリストの上から順番に繰り返し再生します。特定のファイルだけを繰り返し再生することはできません。
---	---	---

関連項目

- 「各画面の説明」 [p.63](#)
- 「動画ファイルを投写する」 [p.37](#)

Windows環境でEasyMP Network Projectionのインストール中または起動時に、Virtual Displayの追加と削除画面が表示されます。



① Virtual Display 1 ~ 4	マルチスクリーンディスプレイ機能で使用する仮想ディスプレイを選択します。4つまで選択できます。
-------------------------	---

関連項目

- 「各画面の説明」 [p.63](#)
- 「仮想ディスプレイドライバーを有効にする (Windows)」 [p.41](#)



付録

EasyMP Network Projectionのアンインストール方法、制限事項などを説明します。

関連項目

- 「ソフトウェアを更新、またはアンインストールする」 [p.80](#)
- 「対応解像度と表示色」 [p.82](#)
- 「制限事項」 [p.83](#)
- 「一般のご注意」 [p.85](#)

EasyMP Network Projectionの更新、またはアンインストールは次の方法で行えます。

関連項目

- 「付録」 [p.79](#)
- 「ソフトウェアの最新バージョンを入手する」 [p.80](#)
- 「EasyMP Network Projectionをアンインストールする（Windows XP/Windows Vista/Windows 7）」 [p.80](#)
- 「EasyMP Network Projectionをアンインストールする（Windows 8）」 [p.81](#)
- 「EasyMP Network Projectionをアンインストールする（Mac OS X）」 [p.81](#)

ソフトウェアの最新バージョンを入手する

EasyMP Network Projectionの最新バージョンは、EPSONのWebサイトからダウンロードできます。

<http://www.epson.jp/download/> にアクセスしてください。

関連項目


- 「ソフトウェアを更新、またはアンインストールする」 [p.80](#)

EasyMP Network Projectionをアンインストールする（Windows XP/Windows Vista/Windows 7）

次の方法で EasyMP Network Projectionをアンインストールします。



ソフトウェアをアンインストールするには、管理者権限が必要です。

- 1** コンピューターの電源を入れます。
- 2** 起動中のアプリケーションをすべて終了します。
- 3**  [スタート] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
- 4** 次のいずれかの操作を行います。
 - Windows XPの場合：[プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。
 - Windows Vista/Windows 7の場合：[プログラム]の[プログラムのアンインストール]をクリックします。
- 5** [EasyMP Network Projection]を選択して、次のいずれかの操作を行います。
 - Windows XPの場合：[削除]をクリックします。
 - Windows Vista/Windows 7の場合：[アンインストール]をクリックします。
- 6** 画面の指示に従って、アンインストールを進めます。

関連項目

- 「ソフトウェアを更新、またはアンインストールする」 [p.80](#)

EasyMP Network Projectionをアンインストールする (Windows 8)

次の方法で EasyMP Network Projectionをアンインストールします。



ソフトウェアをアンインストールするには、管理者権限が必要です。

- 1 コンピューターの電源を入れます。
- 2 起動中のアプリケーションがないことを確認します。
- 3 チャームバーで [検索] を選択して、[EasyMP Network Projection] を検索します。
- 4 [EasyMP Network Projection Ver.X.XX] を右クリック (長押し) して、アプリバーから [アンインストール] を選択します。
- 5 [EasyMP Network Projection] を選択して、[アンインストール] を選択します。
- 6 画面の指示に従って、アンインストールを進めます。

関連項目

- 「ソフトウェアを更新、またはアンインストールする」 [p.80](#)

EasyMP Network Projectionをアンインストールする (Mac OS X)

次の方法で EasyMP Network Projectionをアンインストールします。

- 1 コンピューターの電源を入れます。
- 2 起動中のアプリケーションがないことを確認します。
- 3 [アプリケーション] フォルダーを開きます。
- 4 [EasyMP Network Projection] - [Tools] フォルダーを開き、[EasyMP Network Projection Uninstaller.app] をダブルクリックします。
- 5 画面の指示に従って、アンインストールを進めます。

関連項目

- 「ソフトウェアを更新、またはアンインストールする」 [p.80](#)

投写可能なコンピュータの画面解像と画面の色数は、次のとおりです。

関連項目

- 「付録」 [p.79](#)
- 「対応解像度」 [p.82](#)
- 「表示色」 [p.82](#)

対応解像度

投写可能なコンピュータの画面解像度は、次のとおりです。WUXGAを超える解像度のコンピュータとは接続できません。

- VGA (640 × 480)
- SVGA (800 × 600)*
- XGA (1024 × 768)*
- SXGA (1280 × 960)
- SXGA (1280 × 1024)
- SXGA+ (1400 × 1050)*
- WXGA (1280 × 768)*
- WXGA (1280 × 800)*
- WXGA+ (1440 × 900)*
- UXGA (1600 × 1200)
- WUXGA (1920 × 1200)

* マルチスクリーンディスプレイ機能時の対応解像度

縦横比が特殊な画面のコンピュータの場合は、コンピュータおよびプロジェクターの画素数に応じて、画像の品質をなるべく損なわないように調整された解像度に拡大・縮小されて投写されます。

このとき、解像度によっては縦方向または横方向の余白部分が黒く投写される場合があります。

関連項目

- 「対応解像度と表示色」 [p.82](#)

表示色

投写可能なコンピュータの画面の色数は、次のとおりです。

Windows	Mac OS X
16ビットカラー	約32000色(16ビット)
32ビットカラー	約1670万色(32ビット)

マルチスクリーンディスプレイの動作保証は16ビット・32ビットカラーです。

関連項目

- 「対応解像度と表示色」 [p.82](#)

EasyMP Network Projectionを起動してコンピューターの映像を投写するときは、次の制限事項があります。ご確認ください。

関連項目

- 「付録」 [p.79](#)
- 「使用時の制限」 [p.83](#)
- 「WindowsフォトギャラリーまたはLiveフォトギャラリー投写時の制限」 [p.83](#)
- 「Windows Aeroの制限」 [p.83](#)
- 「Windows Media Center投写時の制限」 [p.84](#)

使用時の制限

EasyMP Network Projectionの使用時には、次の制限があります。

- 無線LANの通信速度が低速の場合、接続しても切断されやすい状態となり、予期しないときに切断されることがあります。
- DirectXの一部の機能を使っているアプリケーションは、正しく表示できない場合があります。(Windowsのみ)
- MS-DOSプロンプトの全画面表示は投写できません。(Windowsのみ)
- コンピューター上の画面とプロジェクターが投写する画像は完全に一致しないことがあります。
- 動画を再生する場合、コンピューター上で再生した場合と比べて、スムーズに再生されません。

関連項目

- 「制限事項」 [p.83](#)

WindowsフォトギャラリーまたはLiveフォトギャラリー投写時の制限

EasyMP Network Projectionを起動中にWindowsフォトギャラリーまたはLiveフォトギャラリーを起動すると、次の制限があります。

- WindowsフォトギャラリーまたはLiveフォトギャラリーでスライドショーを行うと、シンプルモードで再生されます。ツールバーが表示されませんので、Windowsエクスペリエンスインデックスのスコアに関わらず、再生中にテーマ(効果)の変更はできません。いったんシンプルモードになると、EasyMP Network Projectionを終了してもWindowsフォトギャラリーまたはLiveフォトギャラリーを継続している間はモード変更できません。WindowsフォトギャラリーまたはLiveフォトギャラリーを再起動してください。
- 動画再生ができません。

関連項目

- 「制限事項」 [p.83](#)

Windows Aeroの制限

お使いのコンピューターのウィンドウデザインがWindows Aeroのときは、次の制限があります。

- EasyMP Network Projectionのオプション設定画面の[レイヤードウィンドウの転送]に関わらずレイヤードウィンドウが投写されます。たとえば、EasyMP Network Projectionのツールバーはレイヤードウィンドウの転送を無効にしていると、コンピューターの画面に表示されていても投写されないのですが、ツールバーも投写されます。

- EasyMP Network Projectionでコンピューターとプロジェクターをネットワーク接続してから何分かすると、以下のメッセージウィンドウが表示されることがあります。



[現在の画面の配色をそのままにして、このメッセージを今後表示しない]を選択することをお勧めします。この選択はコンピューターを再起動するまで有効です。

関連項目

- 「制限事項」 [p.83](#)

- EasyMP Network Projectionでコンピューターの音声をプロジェクターに転送して再生中に音声がなくなったときは、使用しているアプリケーションを一度終了してから、再度実行してください。

関連項目

- 「制限事項」 [p.83](#)

Windows Media Center投写時の制限

Windows Media Center投写時には、次の制限があります。

- Windows Media Centerの映像は、全画面表示した状態で投写できません。Window表示の状態にすると投写できます。

次の点にご留意ください。

関連項目

- 「付録」 [p.79](#)
- 「ご注意」 [p.85](#)
- 「表記について」 [p.85](#)
- 「商標について」 [p.85](#)

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

関連項目

- 「一般のご注意」 [p.85](#)

表記について

- Microsoft® Windows® XP Professional operating system
- Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system
- Microsoft® Windows Vista® operating system
- Microsoft® Windows® 7 operating system
- Microsoft® Windows® 8 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「WindowsXP」、「Windows Vista」、「Windows 7」、「Windows 8」と表記しています。また、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8を総称する場合はWindows、複数のWindowsを併記する場合はWindows XP/Vistaのように、Windowsの表記を省略することがあります。

- Mac OS X 10.4.x
- Mac OS X 10.5.x
- Mac OS X 10.6.x
- Mac OS X 10.7.x
- Mac OS X 10.8.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Mac OS X10.4.x」、「Mac OS X 10.5.x」、「Mac OS X 10.6.x」、「Mac OS X 10.7.x」、「Mac OS X 10.8.x」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Mac OS X」と表記します。

関連項目

- 「一般のご注意」 [p.85](#)

商標について

IBM、DOS/V、XGAは、International Business Machines Corp.の商標または登録商標です。

Macintosh、Mac、Mac OS、iMacは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Vista、PowerPoint、Windowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について：本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

© SEIKO EPSON CORPORATION 2014. All rights reserved.

関連項目

- 「一般のご注意」 [p.85](#)